

第2号議案

2021年度年度（令和3年度）社会福祉法人藤雪会 事業報告

法人本部

「藤雪会は安心を支えます」

(1) 新型コロナを含めた感染症対策を実施しました。

2021年上半期は、コロナ禍第5波に、下半期は、第6波に翻弄されました。

第5波の影響は上半期の事業報告に書きましたが、保育園は、「そらまめ」「ゆいまあむ」の2か所と、デイルームとんとんが休園しました。

介護事業所は、ご利用者も職員も感染の情報は少なく、ご家族の感染報告があったくらいでした。

ところが、2022年1月からの第6波は、すべての保育園が休園を経験することになり、数回休園した保育園もあります。2月までは、1人の感染者がでたら、10日間くらい全面休園措置でしたが、社会的影響から、クラスだけになり、休園日数も少しずつ緩和されました。この緩和策が裏目に出て、3月中旬に、最後まで休園を免れていた保育園 ViVi が、子ども・職員の6割に感染が広がり、休園措置が卒園式の延期にまで影響しました。

5月現在まで、ときどき、職員や園児感染の報告があり、クラス休園報告もありますが、丸ごと長期間休園は3月中旬の「ViVi」以降はありません。

第6波は介護事業所にも影響を及ぼしました。特に休所できない入居施設は困難でした。藤雪会では、横浜のグループホーム市が尾ポポロで利用者・職員の3分の1に感染が広がり、残った少ない職員で、2週間休みなく働き、防護服に着替えながら介護しました。法人内別事業所から助っ人を出したくても、現場に慣れていない職員に仕事を教えることは、残った職員に負担がかかります。結果、ガーデンハウスももの職員一人が助っ人に駆け付けました。後日、職員には、危険手当を出して慰労し、感染が落ち着いたところで、休日返上職員救済のため、あつぎポポロから助っ人を出しました。

その後、一部職員の感染報告はありましたが、幸いなことに感染拡大は免れています。日々ハラハラしながらの介護事業所でしたが、重篤に陥った人はありませんでした。

第5波で感染して後遺症に苦しんだ職員は、3月末まで傷病休業しておりましたが、新年度4月から職場復帰できました。

神奈川県内では感染者数は高止まりしていますから、油断はできませんが、第5波第6波の経験を生かして、日々の感染対策を丁寧に行うことで、保育園の行事再開や、介護事業所の面会緩和策をとってきました。

月1回くらいですが、感染状況をお知らせする「理事長通信」も継続して発行しました。

(2) リモート研修を取り入れ、研修を充実しました。

上半期の報告に記した通り、リモート研修のプログラムが多彩になり、研修の内容充実と受講者増という結果になりました。

コロナ禍によるプラスの影響です。各事業所でパソコンネット環境を整えました。

(3) 法令遵守

後述する給与関係の整備のため、就業規則と給与規程を改正しました。ただ、理事会のたびにいくつかの規定が改定されており、全事業所や役員・評議員さんが、規程の差し替えを行うのは難しいです。ネット環境を整備して、情報共有のシステムを構築することが急がれます。2022 年 5 月末には、整備される予定です。

(4) 給与の制度整備をします。

年度末に、保育園と介護事業所に特別処遇改善手当の 2 月 3 月の 2 か月分を支給するよう国から要請がありました。川崎の保育園は、これに川崎市補てんが加わりました。年度末の 3 月 30 日付で、ほぼ全職員に支払いを終わりました。

従来の保育園の処遇改善 I・II、介護事業の処遇改善と特定処遇改善に加え、2022 年度は 3 月 30 日に支払った、特別処遇改善(介護事業はベア支援加算)が加わり、給与規程の変更が条件になりました。この機会に、給与制度を職務能力給から処遇改善手当に変更し、内容も、見える化を試みました。ただ、処遇改善加算やベア支援加算は給与規程の変更を条件にする割には、1 年ごとの不安定な制度です。保育料や介護保険料として継続性のある安定した収入になることを望みます。

3 月理事会で給与規程を改定しました。

(5) 労働環境を向上させます。

事業計画に書いたように、人手不足は緩和されてきました。介護事業所では、あつぎポロで 5 人の新卒者や若い常勤者を採用しました。ケアセンターあさひでも常勤者 1 名が採用になりました。保育園は、4 月 1 日入職として、新卒 3 人、既卒の常勤 14 人、非常勤 3 人が決定しました。今までになく、多くの職員を受け入れることができ、やっと充足の時代を迎えることができました。

(6) オンライン会議を使用しました。

コロナ禍の影響で、理事会・評議員会に ZOOM によるオンライン会議を進めてきました。機器の設定により、オンラインとオフラインを併用しています。

保育園の施設長連絡会は、毎月 ZOOM で行っています。

保育園小さなほしで保護者面接や就職希望職員の面接を ZOOM で行いました。

せせらぎ保育園は在宅職員も参加して職員会議に使いました。

まんまる保育園は、卒園小学生と 5 歳児の意見交換をしました。

あつぎポロは、ご家族の面会にタブレットを利用しました。

コロナ感染を防ぐだけでなく、移動時間を短縮し、在宅でも参加できるメリットを生かして、多様な利用を広げてきました。今後も活用を進めていきます。

(7) 入札はありませんでした。2021 年度 100 万円以上の高額稟議を報告します。

決済日	金額	事業所	項目
5/25	1,063,920	ケアセンターあさひ	日本テクノ電気設備契約更新
6/21	2,504,480	高齢事業所&とんとん	車両保険更新 三井住友海上
8/8	3,550,000	デイのんな	送迎車ノア トヨタ
8/18	2,340,250	市ヶ尾ポポロ	ケアカルテ介護ソフト ケアコネクトジャパン
9/7	3,080,000	保育園 ViVi	厨房設備機器 互光商会
10/1	2,750,000	まんまる もものか 本部	コピー機 (リースから購入へ変更) 有隣堂
11/20	3,479,482	ケアセンターあさひ	送迎車 キャラバン 日産プリンス
11/20	1,422,135	ケアセンターあさひ	スカラモビル購入 旭機工
12/14	3,577,721	ケアセンターあさひ	送迎車 ノア 横浜トヨペット
2022/4/26	2,665,850	ケアセンターあさひ	空調吹き出し口を棚に変える サンエキ

(報告者 理事長 又木京子)

高齢事業部

「若いへの不安、藤雪会は安心を支えます。」

1. 今年度も新型コロナウイルス感染症予防に留意する日々でした。しかし、各事業所では営業努力もいたしました。全体として、安定した事業展開となっています。特に、厚木・横浜 3 か所のデイサービス事業が、利用者増となりました。
2. 研修は主としてリモートで受講しましたが、ケアマネジャー資格更新、認知症実践者研修、認知症リーダー研修は研修先に赴く必要がありました。
3. 介護保険改定に柔軟に対応し、各事業で可能な加算取得に向けました。
改定により、さまざまな委員会設置が義務付けられています。経過措置はありますが、感染症や災害への対応力強化、リスクマネジメント(事故防止)委員会、身体拘束の適正化委員会などがあります。委員会で実施する研修内容も多いので、次年度に向け検討し設置していきます。
4. 技能実習生は、それぞれ初級・専門級の試験に合格し、意欲的に勤務しています。1 期生の 3 人からは、実習終了後の 3 年経過後も、引き続き藤雪会に残って働きたいと希望が出ています。また、全 6 人中 2 名は、介護福祉士の資格取得を目指しており、法人として、支援していきます。
5. 1993 年に竣工した、ケアセンターあさひの建物内外の老朽化が目立ってきました。全体を見直しながら計画的に改修修繕を行いました。また、この機会にあさひの外に事務所を設けていた在宅支援部門すべてをあさひの 1 階に集約し、在宅支援の連携を高めることにしました。

(報告者 高齢事業部長 畠山香織)

厚木市厚木南地域包括支援センター事業

理念「厚木南地域包括支援センターは、すべての住民のよろず相談所になります。」

管理者 沢尻美幸

1. 事業概要

- ・厚木市地域包括支援センター運営要綱に基づき厚木市の委託を受け、指定された委託業務内容を行う。
開所時間：月曜日～土曜日（祭日含む） 8：30～17：30 24時間転送電話対応
人員配置：看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員・介護支援専門員 計5名
- ・指定介護予防支援業務

2. 施設の概要

- ・名称：厚木市厚木南地域包括支援センター
- ・所在地：厚木市旭町2-3-13
- ・建物床面積：約60㎡
- ・事業開始日：平成28年 4月 1日

3. 事業報告

今年度はコロナ禍での一年でしたが、感染対策をしっかりと行い「すべての住民のよろず相談所となります。」を施設理念に地域の中の包括支援センターを目指し安定した体制が取れた。

① 総合相談支援事業

- ・介護保険に限らず多様な相談に応じてきた。早い対応をモットーに利用者の方の満足度を高めるよう対応した。コロナ禍での一年であったが、相談件数は増えた。全職員がしっかりと相談業務に係われるよう、指導と経験を積み重ねた。
- ① ひとり暮らし・高齢者世帯への個別訪問はコロナ禍にて電話での情報収集となる事が多かった。
- ② 福祉サービス利用の相談や申請の代行を支援した。
- ③ 地域包括支援センターの周知を図るため、「包括だより」3回、「リーフレット」を作り、配布した。民生児童委員協議会に出席し、周知に努めた。
- ④ 厚木南地区で厚木南地域包括支援センターまで、なかなか足を運べない方へ包括が地域に出向いて相談を受ける、「みなみ・寄って処プラザ相談所」で出張相談を月1回行いました（緊急事態宣言・まん延防止重点措置中は中止）

② 権利擁護業務

- ① 権利擁護支援が必要な対象者に市長申し立ての手続きの支援・日常生活自立支援事業等への支援に繋がりました。
- ② 厚木市成年後見制度利用促進協議会へ参加。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ① 厚木南包括エリアの介護支援専門員を対象とした会議を開催し、情報交換とした。
- ② ケアプラン点検事業は昨年度より継続され、主任介護支援専門員が関り指導を受けている。

④ 介護予防ケアプランの作成をした。専従の介護支援専門員の配置。

⑤ 生活支援体制整備業務

第2層の協議体では自治会連絡会、民生児童委員協議会、老人クラブ、事業所（介護・障がい）障がい者支援センター、シルバー人材センター、地区市民センター、市民のメンバーで厚木南地区の社会資源・地域資源の情報を出し合い、それらの資源の活用、資源情報の見える化をすすめていく方向性である。

職員配置状況

	代表者	看護師 保健師	社会福 祉士	主任介 護支援 専門員	介護支 援専門 員	介護人	調理員	事務員	運転手	合計
常勤	1	1	1	2	1					5
非常勤								1		1
合計	1	1	1	2	1			1		6

開催講座等

1	介護家族支援事業	1回	血管年齢測定&生活習慣チェック	5名
2	元氣いきいきネット推進事業	1回	コグニサイズ	8名

研修報告

外部研修

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
6/8	「今からできる老い支度」任意後見制度と自筆証書遺言保管制度について	2	8/24	リスクマネジメント web 研修	4
9/4	在宅における貼付剤の可能性 web	1	10/13	令和3年度介護報酬改定の概要 web	4
12/14	後見制度支援信託と家族信託について	1	12/15	アルコール依存症の基礎知識	1
12/7	地域包括支援センター職員養成研修（現任者研修総合編）Web	1	1/7	命と生活を守り続ける実効性あるBCP策定への5つの視点 Web	1
2/16	地域診断研修会 Web	1	2/16	居住支援の鍵は連携 Web	1
3/11	看取りケアについて Web	4	3/23	賃貸住宅の入居は不動産天と連携しよう	2

会議

外部会議

事業所連絡会	厚木南包括エリア会議 1回
厚木市認知症地域推進会議	年5回
厚木市包括支援センター会議	包括3回（内書面2回）
厚木市生活支援体制整備に係る第2層協議体会議	年4回
厚木市成年後見制度利用促進協議会	年3回（内書面開催2回）

厚木市地域包括ケア推進会議	年 3 回（内オンライン会議 2 回）
神奈川県高齢協厚木・愛甲地区福祉施設連絡会	年 1 回

事業所内部会議

部門ミーティング	毎朝の打ち合わせ 研修会の企画会議等、随時
部門会議	月 1 回 情報の共有

アクシデント・苦情報告件数

項目	令和 2 年度	令和 3 年度
ヒヤリハット	9	8
軽微事故	1	1
受診事故	0	0
苦情・要望	1	1

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	採用・退職・異動 （日付、職種、人数） 採用：0名 退職：0名
建物・設備	ケアセンターあさひ1階 事務所、相談室、 市の貸与：PC 2台、プリンター1台 包括：PC 5台、複合機1台、書棚、ロッカー等 専用車両（軽）、自転車3台 電話4台（コードレス1台）
地域関連	厚木南地区民児協、自治会、老人会、婦人会、銀行、郵便局、薬局 南公民館 介護保険事業所、ハートラインあゆみ（障害相談機関）、病院、クリニック、障害者作業所、保育所、地域ミニデイ、神奈川工科大学、司法書士事務所、厚木市役所、厚木社会福祉協議会・権利擁護支援センター
見学・来所	来所相談随時

ケアセンターあさひ事業報告

理念「ケアセンターあさひは、とことん在宅を支えます。」

施設長(2021 年度) 赤堀仁美

1. 事業概要

- (1) 訪問介護
- (2) 居宅支援（障がいヘルパー）
- (3) 居宅介護支援
- (4) デイサービス 定員 26 名
- (5) 小規模多機能型居宅介護 定員 29 人
- (6) 食事サービス

2. 施設の概要

- ・所在地：厚木市旭町 2 丁目 3-13
- ・事業開始日：平成 5 年 7 月 1 日（訪問介護）

3. 施設報告

開所 29 年目となり、不具合ある機器類取り換えや施設内の一部改修を行いました。30 年目を迎える 2022 年度も引き続き行っていきます。

新型コロナウイルス予防に努めました。関連の情報を、速やかに職員全体にいきわたるよう小まめに文書を回覧しました。毎週の PCR 検査に取り組み、持ち回りで検査キットを届けるなど、職員の予防意識を高めました。

開所以来、施設長と事務員を配置していましたが、管理者間で連携しつつ、各事業で責任を持ち運営するよう、事務運営体制を見直すこととしました。

4. 職員状況（3 月 31 日）

	施設長 管理者	看護師 保健師	ケア マネ	社会福 祉士	介護福 祉士	ヘルパー 初任者	無資格 介護者	栄養士	調理員	事務	運 転 手	その 他	合計
常勤		1	5		10	2	1		2	1			22
短常勤	1		1										2
非常勤		6	1		9	4			2		1	1	24
合計	1	7	7	0	19	6	1	0	4	1	1	1	48

5. 事業報告

①訪問介護

コロナ禍の中ヘルパーそれぞれが感染予防、自己の健康管理等を行い利用者に寄り添うケアを行いました。また、コロナウイルス感染者や濃厚接触者の可能性のある利用者にも感染予防対策を行った上で必要最低限のケアを行いました。

サービス担当者会議に出席しケアマネジャーと連携をして利用者に適切なサービスを提供しました。定期的なモニタリングで利用者の状況を把握したサービス計画を立て実施しました。

外部研修はリモートを利用し内部研修も密を避けるため最小限に行い資料を配るなどコロナ禍の中でも工夫をして行い各自の資質の向上に努めました。(管理者 山咲良子)

訪問介護実績

	利用者数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	39	1	14	8	9	6	0	1
5月	42	4	14	6	10	7	0	1
6月	40	3	13	6	11	6	0	1
7月	40	3	13	5	12	7	0	0
8月	42	3	14	5	13	6	0	1
9月	43	3	14	6	13	5	0	2
10月	42	3	13	7	13	5	0	1
11月	44	3	11	7	13	7	1	2
12月	43	5	12	5	13	6	1	1
1月	43	6	12	5	13	5	1	1
2月	40	6	10	4	11	7	1	1
3月	39	6	11	3	10	7	2	0
合計	497	46	151	67	141	74	6	12

<介護保険>

	計		身体介護		生活援助		身体生活	
	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間
4月	221	210:55	53	49:15	133	127:45	35	33:55
5月	221	212:45	63	59:10	125	120:25	33	33:10
6月	238	212:05	82	58:45	131	128:05	25	25:15
7月	174	165:20	19	9:30	122	122:10	33	33:40
8月	228	220:25	71	64:15	126	125:35	31	30:35
9月	187	178:40	40	32:15	113	112:50	34	33:35
10月	173	159:55	35	22:20	107	108:15	31	29:20
11月	195	185:45	54	47:40	117	114:45	24	23:20
12月	195	191:50	69	67:15	105	102:35	21	22:00
1月	167	163:55	64	60:10	87	86:50	16	16:55
2月	146	140:25	52	46:40	80	78:40	14	15:05
3月	118	111:45	25	17:30	54	71:40	21	22:35
計	2263	2013:20	627	534:45	1,300	1299:35	318	319:25
平均	195.0	183:01	52.3	44:33	108.3	108:17	26.5	26:37
前年度平均	492.4	450:26	102.0	51:19	258.2	247:30	129.8	151:36
前年比	40%	41%	51%	87%	42%	44%	20%	18%

<総合事業>

	計	
	回数	時間
4月	103	95:20
5月	100	92:10
6月	96	88:15
7月	108	100:00
8月	101	94:20
9月	98	90:40
10月	96	112:10
11月	93	87:45
12月	90	83:10
1月	97	87:30
2月	84	74:55
3月	101	89:15
計	1167	1095:30

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度
ヒヤリハット	50	51
軽微事故	0	2
受診事故	0	0
苦情・要望	3	5

職員状況 3月31日現在

	管理者	介護福祉士	ヘルパー・初任者
常勤	1	2	1
短時間常勤		1	
非常勤		5	1
合計	1	8	2

《居宅介護支援事業所別実利用者数》

事業所名	人数
ケアセンターあさひ在宅支援	19
ライフ ラボ	1
仁厚会訪問看護	2
なごみ訪問看護	1
てだすけ	1
えまーぶる	4
ケアプランきみどり	1
W.Coさち	1
ニチイケアセンター	1
ケアセンターあさひ在宅支援(予防)	1
厚木地域包括支援センター	5
厚木南地域包括支援センター	13

新規・取り消し等

	新規	取り消し等
4月	0	1
5月	3	1
6月	1	2
7月	2	1
8月	0	0
9月	4	1
10月	1	1
11月	2	1
12月	1	3
1月	2	3
2月	1	1
3月	1	2
合計	18	17

外部研修(オンライン含む)

月日	研修内容	参加数
6月25日	サ責初任者研修(オンライン)	1
7月15日	サ責初任者研修(オンライン)	1
9月11日	アングーマネジメント	1

内部研修

月日	研修内容	参加数
4月20日	感染症予防、対策	6
6月16日	管理者研修	1
6月29日	熱中症対策・緊急時の対応	4
10月28日	法令順守・個人情報・虐待防止	7
12月23日	事故の発生等緊急時の対応	5

② 障害サービス

コロナ感染予防に気を配り利用者の希望に沿えるように努めました。

サービス調整会議に出席し相談員等との連携を密に行い利用者に適切なサービスとなるよう努めました。サービス提供責任者が訪問し利用者状況の把握に努めました。緊急訪問の依頼にも出来る限り早急に対応しました。

研修はコロナ感染予防を考慮し外部研修にはリモートで参加し内部研修は最小限で行い資料を配布し各自で読み知識・技術の向上に役立てました。

(管理者 山咲良子)

外部研修(オンラインを含む)

月日	研修内容	参加人数
8月6日	精神障害者ホームヘルパー現任者研修	1

内部研修

月日	研修内容	参加人数
4月20日	感染症予防・対策	6
6月16日	管理者研修	1
6月29日	熱中症対策・緊急時の対応	4
10月28日	法令順守・個人情報・虐待防止	7
12月23日	事故の発生等緊急時の対応	5

障害福祉サービス

	利用者数	計		身体介護		家事援助	
		回数	時間	回数	時間	回数	時間
4月	7	60	53:30	27	16:00	33	37:30
5月	7	45	43:15	18	11:00	27	32:15
6月	6	40	43:30	9	6:30	31	37:00
7月	6	54	50:45	25	15:30	29	35:15
8月	6	59	57:00	28	19:00	31	38:00
9月	6	53	46:30	25	15:30	28	37:00
10月	7	43	48:45	14	11:30	29	37:15
11月	7	59	60:30	26	16:30	30	38:30
12月	7	57	59:00	28	21:00	29	38:00
1月	6	51	51:30	24	16:00	27	35:30
2月	7	51	51:30	24	16:30	27	35:00
3月	7	56	56:30	27	18:00	29	38:30
計	79	628	622:15	275	183:00	350	439:45
平均	6.6	52.3	51:51	22.9	15:15	29.2	36:38
前年度平均	9	269.2	286:47	177.8	196:35	91.3	90:12
前年比	73%	19%	18%	13%	8%	32%	41%

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	10	8
軽微事故	0	0
受診事故	0	0
苦情・要望	0	0

職員状況 3月31日現在

	施設長管理者	介護福祉士	ヘルパー 初任者	無資格介護者
常勤	1	2	1	0
短時間常勤	0	1	0	0
非常勤	0	5	1	0
合計	1	8	2	0

③ 居宅介護支援事業(ケアマネ事業)

今年度の介護報酬改定における概要についてケアマネジメントの提供と給付の適正化を図るためケアマネ部会にて2回のリモート研修(10/13、11/21)に参加し居宅会議にて話し合いより良いケアマネジメントが出来る様努めました。他、居宅事業所との共同研修も11/17に行いパーキンソン病についての学習

を行い知識を高めました。コロナ禍の為実務者研修は中止となり受け入れはできませんでした。

コロナ禍で感染予防に努め、緊急事態宣言やまん延防止措置期間には利用者の強い希望で訪問できない方には電話や郵送の対応をいたしました。市内5カ所の地域包括支援センターや、ご家族や施設や病院からのケアマネ依頼もあり特に末期がんの方の依頼が多くありました。また、サービスで各事業所からの報告に対して地域包括支援センターと相談行い地域ケア会議にも参加し主治医や近所の方も参加されご利用者に対してより良い対応を取ることが出来ました。権利擁護支援センターとの支援会議にも参加しご利用者について話し合いに参加いたしました。他職種連携を行い包括ケア社会の実現に向けたケアプラン作成も心がけました。

(管理者 大江洋子)

居宅介護支援事業実績				令和 3 度予算	月平均	3,165,000 円	ケアプラン	予防 15件 介護 180件						
	訪問調査		ケアプラン											
	件数	(新規)		要 支 援 ¹	要 支 援 ²	総 合	予 防 計	要介護					要介護	ケアプラン
		予防	介護					1	2	3	4	5	計	合計
4月	0	0	7	5	6	2	13	43	62	37	24	12	178	176
5月	0	0	5	5	6	2	13	46	62	34	24	12	178	176
6月	0	0	6	5	6	2	13	48	62	37	26	11	184	177
7月	0	0	5	4	6	2	12	45	65	38	25	11	184	180
8月	0	0	5	4	6	2	12	45	67	36	24	12	184	181
9月	0	0	1	4	6	2	12	44	67	33	22	13	179	179
10月	0	0	4	4	6	2	12	46	64	33	22	14	179	179
11月	3	0	4	4	5	2	11	49	63	31	24	13	180	180
12月	3	0	2	4	5	2	11	46	59	29	24	13	171	171
1月	3	0	7	3	5	2	10	49	58	30	24	14	175	172
2月	0	0	3	3	5	2	10	43	53	38	22	12	168	166
3月	0	0	11	3	5	2	10	43	58	42	24	13	180	171
計	9	0	60	48	67	24	139	547	740	418	285	150	2140	2,108
平均	0.75	0	5	4	5.6	2	11.6	45.6	61.6	34.8	23.8	12.5	178.3	175.7

外部研修

月日	研修内容	人数
4月20日	モルテンリモート研修(福祉用具)	6
6月1日	チーム支援会議	1
6月11日	チーム支援会議	1
6月16日	地域ケア会議	2
7月2日	チーム支援会議	1
8月24日	リスクマネジメントWEBセミナー	6
10月13日	ケアマネ部会オンライン研修	6
11月12日	チーム支援会議	1
11月18日	ケアマネ部会オンライン研修	6
11月19日	南毛利包括ケアマネ連絡会	3
1月14日	南包括ケアマネ連絡会	6
2月18日	オンライン研修認知症メカニズム	6
2月25日	ハラスメントオンライン研修	6
3月18日	看取りケアオンライン研修	6
3月23日	ケアプラン研修オンライン	3

内部研修

月日	研修内容	人数
4月22日	NDソフトリモート研修	6
5月27日	第三者委員会	1
11月17日	他事業所との共同研修	9

職員状況 (年度末の状況)

	主任ケアマネ	ケアマネ
常勤	2	2
短時間常勤	1	1
非常勤		
合計	3	3

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度
ヒヤリハット	23	31
軽微事故	0	3
受診事故	0	0
苦情・要望	1	2

④ 小規模多機能型居宅介護「ゆったり」

理念 「ゆったりは、安心して過ごせる居場所」作りをめざします

1. 小規模多機能型居宅介護事業ならではのなじみの関係を大切に、利用者一人ひとりに寄り添い、個性を大切にしたお付き合いをしました。
2. 地域の方々との交流を意識的に進め、住み慣れた環境で過ごしていただけるよう支援しました。
(管理者 白石理恵子)

小規模多機能型居宅

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録人数	19	21	23	23	20	20	22	20	18	18	18	18	20
男	3	5	6	6	5	5	6	6	5	5	5	5	5.1
女	16	16	17	17	15	15	16	14	13	13	13	13	14.8
実利用	18	17	19	19	17	17	19	17	15	14	14	13	16.5
延べ利用	268	292	327	318	294	306	288	269	236	200	218	210	268.8
日平均	8.9	9.4	10.9	10.2	9.4	10.2	9.2	8.9	7.6	7.1	7.7	6.7	8.9
泊り	11	13	15	13	12	12	12	12	12	10	10	10	11.8
延べ利用	82	82	113	93	93	102	89	78	85	77	112	91	91.4
日平均	2.7	2.6	3.7	3	3	3.4	2.8	2.6	2.7	2.7	4	2.9	3
訪問	10	13	13	15	12	12	15	15	12	11	9	10	12.2
延べ利用	209	282	363	368	350	348	373	345	302	240	222	289	299.2
日平均	6.9	9	12.1	11.8	11.2	11.6	12	11.5	9.7	7.7	7.9	9.3	9.8

運営推進会議

日程	出席数
6/14	8
10/11	8
12/7	6
3/28	8

行事記録

月日	内容
随時	散歩・ドライブ
随時	誕生会
9/11	避難訓練
12/22、23、24	クリスマスお楽しみ会
3/26	避難訓練

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度
ヒヤリハット	96	143
軽微事故	11	17
受診事故	0	2
苦情・要望	0	2

新規・取り消し等

	新規	取り消し	利用の見学
4月	1	2	2
5月	3	0	2
6月	2	0	0
7月	1	1	0
8月	0	3	0
9月	0	0	0
10月	2	0	1
11月	0	2	2
12月	0	2	3
1月	0	0	1
2月	1	1	4
3月	1	1	8
合計	11	12	

介護度別利用者

要支援 1	人数
要支援 2	1
介護度 1	6
介護度 2	13
介護度 3	9
介護度 4	3
介護度 5	0
独自	0
合計	32

紹介居宅介護事業所

事業所名	人数
厚木南地域包括支援センター	2
依知地域包括支援センター	2
南毛利地域包括支援センター	1
あさひ在宅支援	2
リハビリケア湘南厚木	1
神奈川リハビリテーション病院	1
東名厚木病院	1

外部研修(オンライン含む)

月日	研修内容	参加人数
6/25	実践者研修	1
7/17	車両事故防止研修	2
7月～8月	実践者研修	1
8/14	剤の可能性	1
12/13, 14 1/18	小規模セミナー	1
1/20	プラン点検	1
2/2	IPセミナー	1
2/18	研修会(災害)	2
3/11	研修会「看取り」	1
3/23	ラン点検報告会	1

内部研修

月日	研修内容	参加人数
9月～1月	ポポロ園芸療法	1

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	なし
建物・設備	3階浴室入り口工事 送迎車購入
研修受け入れ	YMCA社会福祉学科研修生

⑤ 通所介護サービス (デイサービス)

今年度は、一週間フルにご利用する方が増えてきました。日々のサービス提供を丁寧に行うことを実行する為に、担当者会議など出席し利用者状況などもしっかりと把握することに重点をおきました。新型コロナ感染症の為に日程は短くなりましたが、研修受け入れも行いました。内部研修や外部研修も出来る範囲で行っています。今後もコロナ感染症予防に努め、ご利用者一人一人を尊重し満足いただけるサービスを提供して参ります。(管理者 山崎恵美)

デイサービス実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	昨年度
登録者数	62	62	63	65	67	69	72	71	67	69	67	70	67
利用者数/日	19.5	19.3	20.5	20.3	22	22.1	22.2	22.1	21.3	22	23	24	22

新規・取り消し等

	新規	取り消し	利用の見学
4月	3	1	0
5月	2	1	1
6月	2	0	1
7月	2	0	0
8月	3	0	0
9月	5	3	0
10月	2	3	1
11月	4	2	0
12月	2	2	0
1月	4	0	0
2月	5	0	0
3月	1	0	0
合計	35	12	3

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	69	
軽微事故	0	0
受診事故	0	0
苦情・要望	0	0

介護度別利用者

支援1/事	6
支援2	6
介護1	9
介護2	22
介護3	14
介護4	9
介護5	5
独自	0
合計	71

紹介居宅介護事業所

事業所名	人数	事業所名	人数
びーなS	1	クオール海老名	1
ケアプラン悠悠	1	なごみ 訪問看護	3
ワーカーズコレクティブさち	2	仁厚会	1
えまーぶる	2	てだすけ	1
ニチイケアセンター厚木	1	桜ケアプラン伊勢原	1

主な定期的ボランティアの状況

内容	頻度	人数
ギター(村上さん)	月1	1
カラオケ(橋本さん)	月1	1
遠藤先生(歌)	月1	1

行事記録(研修受け入れ)

月日	内容
8/16~23	田園調布学院 社会福祉4年生 1名
10/4~12	田園調布学院 社会福祉4年生 1名
11/1~20	神奈川社会福祉専門学校 1年生 1名
11/15~19	松陰大学(教員免許) 1名
1/17~2/16	YMCA健康福祉専門学校 社会福祉科 1名
3/17・24	伊勢原市立養護学校1年生 1名

外部研修(オンライン含む)			内部研修		
月日	研修内容	人数	月日	研修内容	人数
6月	理事長研修	1			
6月	感染対策を踏まえた地域防災研修	2			
7月	認知症実践者リーダー研修	1			
8月	認知症実践者リーダー研修	1			

⑥ 配食サービス

独自配食弁当は、入院入所などで終了となる方が多かった一方、包括からの依頼で新規も多く、またデイサービスからの持ち帰りも増えました。配達においては、安否確認だけではなく、地域包括やケアマネと連携して薬の受け渡し、飲料の準備、夏季のエアコンの設定など他の宅配弁当ではできない細かい対応ができました。

(担当 高橋しのぶ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	昨年度
登録者数	24	27	26	27	27	28	32	31	20	25	27	22	26.3	
配食数	488	485	475	487	460	476	476	498	426	396	378	384	452	464
日平均	18.8	18.7	18.3	18.1	17.7	18.3	18.3	19.1	16.4	16.5	15.8	14.2	17.5	18.1

新規・取り消し等

	新規	取り消し
4月	1	0
5月	2	2
6月	1	2
7月	2	1
8月	0	0
9月	4	0
10月	5	1
11月	1	2
12月	0	0
1月	2	1
2月	3	5
3月	3	2
合計	24	16

介護度別利用者

介護度	人数
要支援 1	6
要支援 2	4
介護度 1	3
介護度 2	5
介護度 3	2
介護度 4	
介護度 5	
独自	3
合計	23

紹介事業所

事業所	人数
南包括	13
あさひ居宅	5
ゆったり	3

職員状況 3月31日現在

	栄養士	調理師	調理員	運転手	合計
常勤		1			
短常勤					
非常勤		1			
合計					

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度
ヒヤリハット	57	53

あつぎポポロ

理念「あつぎポポロは自分と家族が利用したい施設をつくります」

施設長 畠山香織

1. 事業概要

- | | |
|--------------------|---------|
| (1) デイサービス | 定員 30 人 |
| (2) 地域密着型特別養護老人ホーム | 定員 29 人 |
| (3) グループホーム | 定員 18 人 |

2. 施設の概要

- ・所在地：厚木市東町 7-2-2
- ・事業開始日：令和 2 年 4 月 1 日

3. 施設報告

- ・感染症予防に努めながらも、家族との面会やボランティアの受け入れなど、利用者の生活がより豊かになるように努力して取り組みました。
 その中で新たな取り組みとして神奈川県園芸体験モデル事業に応募し、園芸療法を開催しました。参加した特別養護老人ホーム、グループホームの利用者にはとても喜んでいただき、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。またおひさまっこ保育園の職員さんにも参加していただき、作品作りを通して保育園との交流をすることも出来ました。
- ・ICT の活用に引き続き取り組みました。業務の効率化が出来た事業と取り組みが遅れている事業がはっきりしてきました
- ・外部研修への参加だけでなく、いつでもアクセス可能なオンライン研修を取り入れ、職員の資質、専門性の向上を目指しました。職員の個々の意欲によって取り組み状況に差が生じ、消極的な職員にどのように働きかけていくか課題が残りました
- ・主にデイサービスで実習生の受け入れを行いました。学校からの問い合わせもあり当初の予定より受け入れ人数も増えました
- ・地域活動への参加、ホームページの更新など外部への発信の取り組みに課題が残りました。新年度は職員数も増えたので積極的に外部への発信を行っていききたいと考えています

4. 職員状況（3 月 31 日）

	施設長 管理者	看護師 保健師	ケア マネ	社会福 祉士	介護福 祉士	ヘルパー 初任者	無資格 介護者	栄養士	調理員	事務	運転 手	その 他	合計
常勤	3	2	2		15	2	6		2				32
短常勤					5	2							7
非常勤		4	1		3	5	4	1	4	1	2	6	31
合計	3	6	3		23	9	10	1	6	1	2	6	70

5. 事業報告

①デイサービス

コロナ禍、少人数でのボランティアや少人数でのお出かけなど、細心の注意を払い行うことが出来ました。

ICT化を図る為、新しい介護計画、機能訓練計画の作成ソフトを導入しました。

見学など、利用者のニーズにこたえる努力をし、利用者の増加につなげることが出来ました。

デイサービス実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	昨年度
登録者数	75	80	79	80	77	78	80	80	78	81	79	79	77
利用者数 /日	23.4	24.7	26.3	26.2	23.4	24.3	26.1	25.8	22.4	24.4	23.3	24.6	22.1

新規・取り消し等

	新規	取り消し	利用見学
4月	2	3	
5月	2	1	1
6月	5	2	3
7月	3	4	4
8月	0	1	1
9月	2	2	0
10月	3	1	2
11月	2	5	1
12月	3	2	1
1月	4	3	0
2月	3	0	1
3月	1	4	0
合計	30	28	14

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	217	254
軽微事故	21	8
受診事故	2	2
苦情・要望	7	0

介護度別利用者

支援1	1
支援2	9
介護1	16
介護2	25
介護3	13
介護4	10
介護5	4
合計	78

紹介居宅介護事業所

事業所名	人数	事業所名	人数
仁厚会訪問看護	4	ワーカーズさち	5
なごみ訪問看護	5	相模ゴム	2
あさひ	14	ここあん	2
さくらなみき	5	ケアプランけいわ	3
きみどり	3	温水	1
ほほえみケアネット	4	ニチイ厚木北	1
ワーカーズあい	3	かなめ	1
ライフラボ	4	ひかりデイ	1
けやきライフ	4	ほほえみケアネット	4
クローバー	1	厚木南包括	1
睦合南包括	2	小鮎・緑が丘包括	1
ヒューマニティ	1	かなめ介護	1
厚木包括	1		

主な定期的ボランティアの状況

内容	頻度	人数
橋本先生 歌のボランティア	月1	1

外部研修(オンライン含む)

月日	研修内容	人数
4月5日	barthelindex評価方法	4
1月18日	事業所消防・防災担当者リーダー教育	1

行事記録

月日	内容
4月	桜湯、桜餅づくり、花見、枝飾り
5月	菖蒲湯、布巾縫い、絞り染め、どら焼き作り、茄子の植え付け
6月	紅茶湯、あさがお種まき、あじさい壁画作り
7月	園芸(収穫・植え付け)、園児へプレゼント作り、夏祭り
8月	ミント湯、向日葵コサージュ作り、花火壁画作り
9月	和紙作り、羊羹づくり
10月	園児へハロウィンプレゼント作り、レモン湯
11月	紅葉吊り飾り、運動会
12月	クリスマス週間、ゆず湯、クッキー作り
1月	甘酒、初詣、干支パネル作り、おしろい作り
2月	みかんの皮湯、バレンタインクッキー作り
3月	ひな祭りチョコレートフォンデュ、桜吊り飾り作り、スライドショー
毎月	音楽の会、習字、体操の会、橋本先生ボランティア、佐久間ギター演奏

②グループホーム

園芸療法を取り入れ、生活の中で植物をより身近に感じ、自分の寄せ植えを世話することで、自らの役割を見出し自信や達成感を感じることができました。

自然に触れストレスを発散し、脳を活性化しています。

方針である、・意欲を引きだし、出来るを支える。

・主体性を大切に、笑顔を増やす。

・明るく豊かな生活空間を作る。

を意識し、利用者の残存機能を活かし利用者様と職員が共に幸せが感じられる支援に努めました。

グループホーム・特養実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
定員	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
入居者数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
新規	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
退去	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

介護度別

要支援 1	0
要支援 2	0
介護 1	2
介護 2	8
介護 3	5
介護 4	1
介護 5	2
合計	18

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	115	
軽微事故	26	
受診事故	2	
苦情・要望	0	

運営推進会議

日程	人数
6月22日	7

行事記録

月日	内容
4月	お花見
8月	夏祭り
10月	園芸療法
11月	園芸療法
12月	クリスマス会
1月	園芸療法

外部研修			内部研修		
月日	研修内容	人数	月日	研修内容	人数
6～7月	介護福祉士実習指導者講習会(全5回)	1	6月	認知症ケア	1
6月	社会福祉士実習指導者講習会(全2回)	1	6月	AED研修	4
7～3月	ファーストステップ研修(全9回)	1	6月	事故発生予防、再発の防止	1
7～10月	外国人技能実習生等資質向上研修(全7回)	2	10月	高齢者虐待防止について	1
7～9月	介護の日本語中級(全4回)	1	7月	幸せになれる事業所、施設運営	1
1月～	介護支援専門員実務研修	1	10月	介護におけるコミュニケーション	1
			2月	災害及び要配慮者に関わる災害知識	1

③地域密着型特別養護老人ホーム

- ・園芸療法の参加や季節の作品作りや生活リハビリなど、利用者の生活の充実に努めました
- ・職員の配置人数を基準の人員配置数より増やし、夜勤者の負担軽減など労働環境の改善を行いました。

特養実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
定員	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348
入居者数	29	28(3)	28(3)	28(4)	28	25(2)	26(1)	28	29	29	29	29	336
新規	0	1	1	1	1	1	3	1	1	0	0	0	10
退去	1	1	1	1	1	2	3	0	0	0	0	0	10

介護度別

要支援 1	0
要支援 2	0
介護 1	1
介護 2	1
介護 3	11
介護 4	7
介護 5	9
その他	0
合計	29

運営推進会議

日程	人数
6月22日	7

行事記録

月日	内容
7月	夏祭り
10月	園芸療法
11月	園芸療法
1月	園芸療法

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	131	
軽微事故	25	
受診事故	3	
苦情・要望	2	

外部研修

月日	研修内容	人数
6～7月	介護福祉士実習指導者講習(全5回)	1
7～10月	認知症介護実践リーダー研修	1
	認知症介護実践者研修	1
1月	事業所消防・防災担当者リーダー教育	1
3月	看取りケア研修会(全2回)	2

内部研修

月日	研修内容	人数
6月	AEDの使用方法	
7月	高齢者福祉研究大会(オンライン)	

市ヶ尾ポポロ

理念「市が尾ポポロ（私たち）は利用者に寄り添った、安心できる『家』をつくります」

管理者 本田陽一

1. 事業概要

- (1) グループホーム 定員 9 人
- (2) デイサービス 定員 3 人

2. 施設の概要

- ・所在地：神奈川県横浜市荏田西 3-1-19
- ・定員：認知症共同生活介護 9 名 認知症対応型通所介護 3 名
- ・事業開始日：2013 年（平成 25 年）6 月 1 日（NPO 法人開始日 2005 年（平成 17 年）3 月）

3. 事業報告

(ア) デイサービス

ケアマネ事業所からの紹介増により利用登録が増え、月平均利用者も増加しました。

デイサービスを利用されながら GH の入居待ちの方がおられ、2021 年度は 2 名のかたが入居されました。

2022 年 1 月、認知症デイでは開所初めての実地指導があり、お泊りデイについて修正、登録を行いました。

2022 年 2 月 GH で新型コロナウイルスのクラスター発生。2 月いっぱいデイサービスを休止しました。

(イ) グループホーム

2 名の方が新規ご入居され、2 名の方が退去され、2 名共看取りをしました。

月に 2 件から 4 件程、ケアマネ、入居先を探されているご家族の問い合わせがあります。

新型コロナウイルスの影響で施設内の見学は遠慮していただいています。

2021 年 11 月より記録を紙記入からタブレットへ電子化移行しました。使用する紙の量は減りタブレット端末や PC で記録の共有が可能となりました。

2022 年 2 月施設内で新型コロナウイルスのクラスターが発生、最終的に入居者 4 名、職員 5 名の感染となりました。

事業所全体データ

一般事業・職員の活動等

人事	入職: 常勤介護職 1 人 退職: 非常勤介護職 2 人
建物・設備	介護記録用 Ipad×2 パソコン 1 台
研修受け入れ	なし

職員状況 3月31日現在

	施設長 管理者	看護師 保健師	ケアマ ネ	社会福 祉士	介護福 祉士	ヘル パー 初任者	無資格 介護者	栄養士	調理員	事務	運転手	その他	合計
常勤	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
短常勤	0	0	0	0	1	2	1	0	2	0	0	0	6
非常勤	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	4
合計	1	0	1	0	3	3	2	0	2	0	0	1	0

外部研修

月日	研修内容	人数
1月24日	高齢者虐待	1
10月8日	管理者研修	1

内部研修

月日	研修内容	人数
6月28日	身体拘束	10
8月20日	高齢者虐待	8
10月30日	人権擁護	8
12月10日	事故防止	7
1月25日	感染症予防	9
3月25日	苦情処理	7

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	79	49
軽微事故	1	0
受診事故	0	0
苦情・要望	3	0

行事記録

月日	内容
4/1-4/5	お花見
5/24-5/26	ワクチン接種(GH)
2022/7/7	すいか割り(七夕)
毎月	お誕生会
2022/12/24	ミニクリスマス会
2022/12/12	大根堀り(GH)

グループホーム実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
定員	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
入居者数	9	8	9	9	9	9	9	8	9	9	9	9	106
新規	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
退去	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2

新規・取り消し等

	新規	取り消し	利用の 月数
4月			2
5月		1	1
6月	1		1
7月			1
8月			2
9月			3
10月			1
11月		1	2
12月	1		1
1月			2
2月			0
3月			1
合計	2	2	17

介護度別

要支援 1	
要支援 2	
介護 1	
介護 2	3
介護 3	3
介護 4	1
介護 5	2
合計	

紹介先	人数
葛が谷地域ケアプラザ	1
ふれあい都筑	1
合計	2

運営推進会議

日程	人数
8月5日	7

デイサービス実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	昨年度
登録者数	7	8	7	6	6	7	7	7	8	9	9	9	7
利用者数/日	2.57	2.71	2.7	2.65	2.52	2.65	2.39	2.4	2.19	2.36	2.29	2.43	2.18

新規・取り消し等

	新規	取り消し	利用見学
4月	1	0	1
5月	1	0	1
6月	0	1	0
7月	0	1	1
8月	0	0	2
9月	1	0	0
10月	0	0	1
11月	0	0	1
12月	1	1	0
1月	1	0	0
2月	1	0	1
3月	0	0	0
合計	6	3	8

介護度別利用者

支援1	
支援2	
介護1	3
介護2	5
介護3	0
介護4	1
介護5	0
独自	
合計	9

紹介居宅介護事業所

事業所名	人数
アミカ市ヶ尾	1
ささゆりケアプラン	1
ふれあい都筑	1
葛が谷地域ケアプラザ	2
美しが丘地域ケアプラザ	1

みどり事業所「ガーデンハウスもも」

理念「ガーデンハウスももは、利用者本位に徹し、柔軟なサービスを提供します」

管理者 齋藤 恵美子

1. 事業概要

(1) 小規模多機能型居宅介護 定員 29 人

2. 施設の概要

- ・所在地： 神奈川県横浜市緑区中山 2-6-1
- ・定員： 29 名（通い 18 人、宿泊日 5 人、訪問対応）
- ・事業開始日：平成 25 年 6 月 1 日（NPO 法人開始日 平成 24 年 4 月 1 日）

3. 事業報告

- ：目標の利用者増にはなりませんでした。
- ：運営推進会議を 3 ヶ月に 1 回と外部評価は感染症対策を取り 3 月 22 日開催できました。
- ：職員の資格取得に努力しました。
- ：毎週月曜日に PCR 検査を行いました。
- ：利用者や職員の衛生管理、換気、手洗い、マスク着用の徹底、アルコール消毒を日/10 回
行い、更に食事や 3 時のお茶には手洗い後手指の消毒も徹底しました。
- ：コロナ感染した職員の休みが増えたものの、シフト調整で職員間の協力体制が出来ました。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録人数		17	18	18	18	18	18	18	17	16	19	18	19	17.8
	男	1	1	1	1	1	1	2	1	0	1	1	1	1
	女	16	17	17	17	17	17	16	16	16	18	17	18	16.8
通い	実利用	17	18	18	18	18	18	18	17	16	19	18	19	17.8
	延べ利用	340	342	407	388	368	375	386	363	364	339	320	367	363.5
	日平均	11.3	11.7	13.5	12.5	11.8	12.5	12.4	12.1	11.7	10.9	11.4	11.8	11.9
泊り	実利用	7	8	7	9	7	8	7	8	7	9	8	7	7.6
	延べ利用	117	109	132	132	124	136	116	108	109	107	97	124	117.5
	日平均	3.9	3.5	4.4	4.2	4	4.5	3.7	3.6	3.5	3.4	3.4	4	3.8
訪問	実利用	14	13	14	15	14	13	15	15	14	14	13	15	14
	延べ利用	233	287	303	269	255	248	259	273	298	292	292	274	273.5
	日平均	7.7	9.3	10.1	8.6	8.2	8.2	8.3	9.1	9.6	9.4	10.4	8.8	8.97

運営推進会議

日程	出席数
6月22日	7
10月26日	7
1月25日	6
3月22日	6

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度
ヒヤリハット	126	109
軽微事故	4	4
受診事故	0	0
苦情・要望	0	0

介護度別利用者

要支援 1	2
要支援 2	0
介護度 1	1
介護度 2	3
介護度 3	7
介護度 4	5
介護度 5	1
合計	19

新規・取り消し等

	新規	取り消し	利用見学
4月	1	1	
5月	1		
6月	0	0	
7月	0	0	
8月	0	1	
9月	1	0	3
10月	0	1	
11月	0	1	2
12月	0	0	
1月	3	1	4
2月		0	3
3月	2	1	
合計	8	6	12

紹介居宅介護事業所

事業所名	人数	事業所名	人数
聖マリアンナ医科大学	1	昭和大学北部病院	1
横浜新緑総合病院	3	横浜市福祉サービス協会緑介護事務所	1
藤が丘リハビリ病院	3		
済生会神奈川県病院	1	恵生会上白根病院	1
老健セラトピア	1	新戸塚病院リハビリテーション	1
ふくろくケアプランセンター	1	あいばなケアセンター	1
横浜労災病院	1	荏田記念病院	1
市ヶ尾ポポロ	1	リハセンターさわやか	1

外部研修(オンライン含む)

月日	研修内容	参加数
6/8.	初任者研修	1
6/9.	実務者研修	1
10/7.	実務者研修	2
12/17.	規模社会福祉施設防火安全研修	2
2/27.	認知症介護基礎研修	1

内部研修

月日	研修内容	参加数
5/28.	車椅子からの移乗と介助法	12
6/24.	介護者の職業倫理と社会人の心得	11
7/29.	認知症ケアと対応の事例検討	13
8./27.	ADLと生活リハビリ事例検討	12
9/30.	事故・ヒヤリハット事例検討	12
10/28.	身体拘束の排除」の為	11
11/26.	災害時の緊急連絡網及び対応他	14
12/28.	個人情報・プライバシー保護の取り組み	10
1/27.	自衛消防組織編制の取り組み	9
3/30.	感染症予防	12

職員等の活動等

事項	
人事	採用・ 5名 非常勤（看護師1名）、（介護職員4名） 退職 6名 看護師 常勤1名・非常勤1名、介護職員2名、厨房1名、運転手1名
建物・設備	無
研修受け入れ	無

みどり事業所 「デイのんな」

理念「いくつになっても住み慣れた地域で、その人らしく暮らす」

施設長（管理者）本間 茂

1. 事業概要

デイサービス 18人

- ・所在地：横浜市緑区中山 2-6-1
- ・定員：18人
- ・事業開始日：平成 25年 11月 1日

2. 事業報告

①利用者数：目標とした平均利用者 13 人には及ばず、3 月末は 9.3 人、年平均で 10.6 人でした。年度当初の登録者は 37 人、年度末の登録者は 35 人でした。年間 17 人の新規利用者があるのですが、一方で 19 人の取りやめがありました。（施設入所 10 人、他のデイサービスへ 4 人、ももへ 1 人、自宅療養 2 人、死亡 2 人）

訪問営業で、看護師の配置、個別機能訓練の実施、個浴でゆったり入浴できること、手作業の充実、川沿いを屋外歩行訓練すること、のんなで採れたフキや筍、梅の実を使ったレクリエーションで季節を感じてもらっていること、支援の方でも入浴できることをアピールしました。「のんな便り」を年 4 回発行し営業材料としました。目標：平均 13 人 登録者：45 人

②加算：4 月より介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ）、5 月よりサービス提供体制強化加算（Ⅲ）を始めました。

③送迎車：トヨタのノアを購入しました。（車いす使用車・スライドアップシート付き）

④スタッフ募集：タウンワーク・インディード等で募集。入職 3 人、退職 1 人。職員は年度末 15 人。現在は募集中止しています。

⑤研修：9 月よりウェブ研修「メディパスアカデミー」開始。開始時 13 名中 12 名参加。認知症基礎研修 2 名受講。認知症実践者研修 1 名受講。防火・防災新規管理講習を管理者が受講しました。

⑥運営推進会議：3 月と 11 月に書面にて開催。FAX 等で意見をいただきました。

⑦コロナ対策：5/14～日本財団の無料 PCR 検査を週 1 回実施しました。空気清浄機設置、エアコンクリーニングしました。

3. 職員状況（3 月 31 日）

	施設長 管理者	看護師 保健師	ケア マネ	社会福 祉士	介護福 祉士	ヘルパー 初任者	無資格 介護者	栄養士	調理員	事務	運転 手	その 他	合計
常勤	(1)				1								1
短常勤					2								2
非常勤		3			3	1	4				1		12
合計		3			6	1	4				1		15

デイサービス実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	昨年度
登録者数	38	39	39	41	42	41	42	40	39	38	39	35	39.4	35.9
利用者数/日	9.8	10.1	10.8	10.3	11	11.1	11.5	11.3	10.8	9.6	10.1	9.3	10.6	8.9

新規・取り消し等

	新規	取り消し	利用の見学
4月	3	2	3
5月	3	2	4
6月	0	0	0
7月	3	1	2
8月	2	1	0
9月	1	2	1
10月	1	0	0
11月	1	3	3
12月	1	2	2
1月	1	2	2
2月	1	0	0
3月	0	4	3
合計	17	19	20

介護度別利用者

支援 1	3
支援 2	2
介護 1	12
介護 2	12
介護 3	3
介護 4	3
介護 5	0
独自	0
合計	35

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	224	167
軽微事故	6 (車)、2	5 (車)、5
受診事故	1	0
苦情・要望	1	0

主な定期的ボランティアの状況

内容	頻度	人数
現在ボランティア受け入れは中止しています		

紹介居宅介護事業

事業所名	人数	事業所名	人数
中山地域ケアプラザ	10	さわやか	1
翡翠の舞	5	セラトピア	1
あゆみ	4	ケアマネジメントMORI	1
みどりの杜	3	オプティ緑	1
鴨居地域ケアプラザ	3		
緑区医師会	2		
ツクイ	2		
ぬくもり藤が丘	1		
ハートフルガーデン	1		35

行事記録

月日	内容
5月	端午の節句
6月	紫陽花弁当
7月	七夕
9月	敬老弁当
12月	クリスマス会
2月	節分
3月	菜の花・桜お花見ドライブ

外部研修(オンライン含む)			内部研修		
月日	研修内容	人数	月日	研修内容	人数
12月	認知症介護基礎研修	2	6月	高齢者の気持ち	13
1月	認知症介護実践者研修	1	2月	虐待防止	15
3月	甲種防火管理・防災新規講習	1		毎月ヒヤリハットから学ぶ	
8月	メディパスアカデミー開始	12			

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	採用:3名(介護職・非常勤) 退職:1名(介護職・非常勤)
建物・設備	特になし
研修受け入れ	なし

子ども事業部

1. 2021 年度も新型コロナウイルスとの共存社会が続く中で予防対策をしっかり図り、感染拡大の状況をみながらの事業運営が続きしました。

新型コロナウイルスによる第 6 波が押し寄せてきた以降は、当法人の子ども事業所でも感染拡大による休園を経験しましたが、これまで同様、冷静に対策をとり対応しました。

しかし、自治体での保育園の休園条件や、濃厚接触者の特定、自宅待機期間（健康観察期間）などの判断基準が異なり（川崎市では行政区によって異なったことも）、県、市の考えに現場が振り回されました。国の対応にも疑問が残ります。

このような状況の中で、各事業所は、「三密を防ぐ」対策を図りながら、保護者との信頼関係、地域社会との協力関係など築き上げることに努力し、少しでも地域福祉に貢献できるよう事業を進めてきました。

2. ほとんどの研修がオンラインになり研修会場へ出向かなくてよい、一定期間に受けることができる研修が増え複数人で受講できるなど現場としてはメリットがありました。

また、今年度は、公的機関が主催する研修の他に、民間機関が主催する研修を年間通して活用しました。各事業所は、人を育てるという最重要課題について研修方針を立て取り組む努力を続け次年度へ繋いでいきます。

3. 備品の機能やリース状況などを点検し、リースではなく買い取りにする、過度な便利機能は止めるなど無駄な経費の削減に取り組みました。

（報告者 子ども事業部長 佐藤洋子）

まんまる保育園

理念「まんまる保育園は、『こども、保護者、地域』の安全基地になります。」

(地域に貢献できる保育園)

施設長 佐藤洋子

1. 施設の概要

- ・名称：まんまる保育園
- ・所在地：川崎市中原区上小田中 1-29-20
- ・定員：80 人
- ・敷地面積：870.1 m²
- ・建物床面積：774 m²
- ・構造：鉄骨造り
- ・運用開始日：平成 25 年 4 月 1 日

2. 事業概要

- (1) 通常保育 7 時～20 時 (18 時～20 時延長保育) 定員 80 人
- (2) 一時預かり保育 8 時 30 分～18 時 30 分 (17 時 30 分からは延長保育) 定員 10 人

3. 事業報告

(1) 保育部門

- 1) 毎日の保育では、児の自ら育とうとする力を信頼し児の育ちを支える保育に一人ひとりが取り組みよう多面的に研修を行ないました。(外部研修、園内研修)
- 2) リーダー、セカンドリーダーが育ってきました。次年度の保育園運営に活かします。
- 3) 職員一人ひとりが「気づき」「危機管理意識」を高める努力を続けました。
- 4) 配慮のいる児・家庭への対応について、スタッフ間の共通理解・認識を高め、園全体でバックアップしました。

(2) 給食部門

- 1) 「保育」と連携して食育計画を作成し、今年度は特に、畑、プランターで沢山の野菜や花を育てました。
- 2) 一人ひとりの児の成長・発達に応じた給食の提供に「保育」と連携して取り組みました。

(3) 一時預かり

- 1) 今年度も、就労での利用の他、母親支援、家庭支援が必要なケースへの対応を進めました。認可保育園の入所基準の緩和により就労での一時保育の利用は減少傾向にあります。その分、養育に課題を抱えている、子育てに疲れてレスパイトが必要なケースなどについて積極的に受け入れることができました。

(4) 親子サロン

- 1) 毎月開催している「助産師さんの母乳ケア&ママサロン」は、サロンの開催は見合わせていますが母乳ケアは予約制で続けています。離乳食の進め方など育児への悩み相談の場として機能しました。
- 2) 次年度入園希望の見学者も 1 日 3 組 (大人 1 人)、テラスからの見学など条件付きでしたが受け入れました。その場が子育て相談や意見交換の場にもなりました。また、地域の民生委員主催の子育て支援 (オンライン開催・親子の触れ合い遊び) に協力しました。保育士も替わりあって参加し学びの場になりました。

事業詳細

年令別・月別園児数

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
1	14	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	15
2	15	18	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
3	15	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17
4	15	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
5	15	17	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16
計	80	92	91	92	92	91	91	91	91	91	91	89	89

職員報告 3月31日現在

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
国基準	1	13			1	2			17
常勤	1	15			1				17
短常勤		3	1			1			5
非常勤		1				3	1	1	6
計	1	19	1		1	4	1	1	28

月別活動記録（園児関係）

4月	入園を祝う集い（各クラス） 進級を祝う集い（各クラス）	10月	まんまるフェスティバル（幼児クラス）	園庭を活用、時間制、
	こいのぼりの集い（各クラス）	12月	まんまるお楽しみ会 ⇒ 動画配信	
7月	5歳児お泊り会 ⇒夏の夜のお楽しみ会	3月	お別れ会（幼児） 卒園式（年長児）	卒園式 昨年に引き続き園庭を活用
7月	夏まつり中止 ⇒各クラスで夏祭りごっこ遊び			
8月	プール遊び⇒水遊び			
（その他 定例行事） 誕生会、避難訓練、身体測定、健康診断（0、1歳児は隔月、2歳児～5歳児は年3回受診） 幼児クラス歩き遠足				

外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数（月・週・回）
英語で遊ぼう 英語で歌やゲームを楽しむ	斎田	月1回（講師料保護者一部負担・参加園児月100円）※8月・9月、2月、3月休み

特別保育事業実施報告

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度	昨年度末	今年度	昨年度末
一時預り保育	242	242	590 人	332
延長保育	242	242	1937	1987
親子サロン	2	3	16 組	24 組
母乳ケア	10	6	36 組	24 組

※一時保育については、市からの自粛要請期間については、緊急で必要とされる家庭を配慮し受け入れた

研修実施報告

外部研修

月 日	研修内容	参加者数	月 日	研修内容	参加者数
4 月	新人研修・リーダー研修	1 人・1 人	9 月	①離乳期から幼児期における食事支援と子どもの歯 ②キャリアアップ研修（保健衛生・安全対策）③自主研修（不注意優勢タイプの理解と支援）	①1 人 ②1 人 ③1 人
5 月	21 世紀型の保育の面白さと大切さ	11 人	10 月	発達支援	7 人
6 月	乳児保育	14 人	10 月	保育園における子どもの権利	6 人
7 月	①コロナ禍における子どもの心を守る心理的応急処置 ②口腔内の発達から見た食事 ③発達をおさえた環境設定（発達の多様性と環境の支援） ④キャリアアップ研修（食育・アレルギー対応）	① 5 人 ② 9 人 ③ 8 人 ④ 1 人	10 月	キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）（幼児教育）	各 1 人
			10 月	①乳児保育（保護者支援と保育者の役割）②多様な子どもたちを支える保育	①1 人 ②9 人
			11 月	キャリアアップ研修（乳児保育）	1 人
			12 月	主任研修（JETMA）	1 人
8 月	キャリアアップ研修（食育・アレルギー対応 ②キャリアアップ研修（保健衛生・安全対策） ③ SUDI 小児の予期せぬ突然死症群） ④幼児教育	① 1 人 ② 1 人 ③ 16 人 ④ 1 人	12 月 ～ 1 月	わらべうた研修 保育実習担当者研修 アプローチカリキュラムを考える	8 人 1 人 1 人
			2 月	①コミュニケーションの原理原則の再確認 ②マネジメント	各 1 人

法人研修 施設長に関しては、施設長連絡会で毎回一つ以上の質問をするようにし、その質問についての意見交換の中に学びがありました。

内部研修(園内研修)

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
4～5月	① 保護者対応 心肺蘇生法 異物除去、嘔吐、血液処理 グループに分けて実施 ②本読み研修 死を招いた保育	①保育スタッフ全員 ②新採用職員(4人)	8月～9月	受講した外部研修からの学びを活用。事例検討 保育計画等の書式見直し⇒セカンドリーダーが中心に担当	クラス担当 保育士全員
			10月～2月	「待つ保育」に関するエピソード2事例を2週間ごとに閲覧し各自が学ぶ(閲覧研修)	全員
5月	保護者対応(保護者との関係づくり)	保育士全員	12月	子どもの人権 事例検討(研修担当保育士)	8人
6月	水遊びの危機管理(マニュアル作成)	各クラス	1月～2月	日常のあたりまえを見直そう⇒本読み	主に乳児クラス担当

合同会議

事業所連絡会	なし
施設長連絡会	毎月1回 4月～3月オンラインでの開催
部門会議	業務会議 研修・保育MT 行事MT ケース会議(随時)

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	367件	158件
軽微事故	6件(とげ)	6件(とげ)
受診事故	1件	2件
苦情・要望	0件	0件

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	採用・退職・異動 (日付、職種、人数) ① 入職 4月1日 保育士4人 調理員1人 ② 異動・退職 4月1日 非常勤保育士1人・子育て支援員1人「そらまめ保育園」へ 7月1日 非常勤保育士「そらまめ保育園」より異動⇒育休を経て3月31日退職 5月14日非常勤保育士 健康状態不良のため退職
建物・設備	コピー機の入替え、電話機の取り換え(リースの見直し)
地域関連	育児相談 母乳ケア&ママサロン(母乳ケアのみ実施・時間予約制) 民生委員主催の子育てサロンの企画に協力
見学・来園	保育園親子見学の受け入れ: 4～5月、6、8月実施 8～9月中旬中断 9月中旬～再開組 就労支援センターとの連携 隔月に担当者来園 和光大2年生見学
体験学習	近隣中学校2校より職場体験学習の受け入れ⇒中止 大谷戸小学校2年生の街探検に協力
実習生指導	9月 洗足こども短期大学1年生2人の保育所体験受け入れ(半日) 9月(洗足こども短期大学2年生2人)受け入れ(11日間) 9月(和光大学4年生1人実習(12日間)受け入れ 2月 洗足こども短期大学1年生 8日間の受け入れ

保育園 ViVi

理念「保育園 ViVi は、生きる力を育てます」

施設長 西脇 あやこ

1 施設の概要

- ・所在地：厚木市水引 2-12-29YM ビル
- ・定員：40 名
- ・開所日：2015 年（平成 27）年 9 月 1 日 NPO 法人開所日 2003 年（平成 15 年）4 月 1

2 事業概要

- | | | | |
|-------------|--------------------|---------|-------------|
| (1) 通常保育 | 7 時 30 分～18 時 30 分 | 定員 40 人 | （延長保育 19 時） |
| (2) 一時預かり保育 | 8 時 30 分～16 時 30 分 | 定員 6 人 | |

3 事業報告

(1) 保育部門

ア) 保育園 ViVi は子どもの生きる力を育てます

- ・散歩、遊び、給食を通して「よく食べ、よく眠り、よく遊ぶ子」を育てます
- ・「自分が好きな子」になるように保育士は子どもの安全基地になります
- ・異年齢保育の特性を生かし、子どものできる力を信じて「挑戦する子ども」を育てます
- ・子ども同士の関わりを大切に「友だちの思いを感じる子ども」を育てます

以上を園目標として日々の保育を行いました。保育者同士が日常の中・会議と子どもの様子を共有し、保育目標に立ち帰る事を繰り返しました。

行政やその他機関との連携を取り、情報共有を積極的に行いました。

保育課、児童相談所、家庭相談課、健康作り課、小学校、支援センターまめのき、園医杉浦医院。新型コロナウイルス感染症が広がった際には、保健所ではなく保育課との情報共有を密に行いました。また、要対協の対象家庭においては変わった様子が見られた際には情報共有を綿密に行い、保育園だけで問題を抱えないようにしました。

イ) 内部研修、自己チェック表を通して、保育力向上を目指します

ヒヤリハット、事例検討、事例報告、事故報告を迅速に共有し安全管理に努めました。安全管理に対する職員の力量に差が大きく、フォローする役割の職員のケアも大事にしました。

ウ) 感染症対策を講じた上で、日常の保育・行事を行います。

- ・今までの保育でやってきたことを基本とし、『よく遊び・よく食べ・よく寝』の中で感染症に負けない体づくりをします。
- ・手洗い・お茶飲みを子どもの感染症対策を基本とし、過度な対応・消毒はしません。

【行事】 感染症対策を講じながら、保護者が参加する機会を作りました。また、動画配信・ブログ・ICT の活用による日々の子どもの姿を伝えました。

餅つき ・感染症予防から保護者参加はなし、子ども・保育者で行い、お餅を搗く体験は継続しました。幼児がのしもちを作り、家庭で家族と食べるという方法を取り、好評でした。

夏祭り ・感染症予防から今年度も職員の出店、年長児のお店屋さんの形式でおこないました。お神輿の参観は蔓延防止措置に入ったため中止としました。

夕涼み会 ・中止

運動会 ・乳児は保育園内でクラス別で行い、幼児は小学校体育館で行いました。

お楽しみ会 ・クラス別で行いました。

入園式・卒園式 ・卒園式は感染者の拡大により延期となり、日程調整の上最終日曜日に保護者参加

で行うことが出来ました。

行事に関して、コロナ禍前の行事を知る保護者からは元に戻してほしいという意見が出ました。新入園の保護者からはこの状況の中で出来たことに感謝という意見が多数です。色んな意見がある中、安全と新しいあり方を考える一年となりました。

(2) 給食部門

- ・食育活動、離乳食相談、園便りを通じて保護者に発信しました。
- ・アレルギーのある児の受け入れを行うにあたって、厨房・担任・主任を中心に安全に提供できるように提供方法の確認と全職員への周知を徹底しました。
- ・野菜栽培に各クラス力を入れ、園舎横花壇に全クラスが野菜を決め栽培。
子どもたちと日常の中で観察し収穫できることで苦手なものも食べようという気持ちが大きくなりました。後半は、幼児の園外保育へ向けての体づくりをテーマに食べることを子どもと話をし、『よく噛んで食べる』ことに気持ちを向けることが出来ました。
- ・コロナ対策で、年長児の配膳が出来ない・テーブルの使用人数を減らす・騒いで食べない等あるが、子どもたちと話をしながら進めてきました。
- ・感染症対策で、子ども自らの配膳が出来ない。年長のやりたい気持ちに添えないことになどう向き合うかが課題です。

(3) 一時預かり

- ・新型コロナウイルス対策・保育者配置が困難なため、AM利用・利用回数の減をお願いしました。育児疲れ・集団慣らし・母病院受診時が主な利用。
- ・母の利用の様子で気になることがあり、家庭相談課、児相に繋げたケースもありました。

(4) 親子サロン

- ・令和2年4月より閉所しましたが7・8月のみ場所提供として開所。利用者が1名のことも多く9月より再度閉所しています。感染予防と、母子の居場所確保ができないというところで新たな心配がありました。
- ・感染症の状況により、前月に次月開催できるかを判断。後半は、「英語でうたおう」コンサートを実施できました。ぎりぎりまで開催が出来るかの判断が難しく、参加者への発信が課題となりました。

事業詳細

年令別・月別園児数

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	5	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	5	5
1	7	5	5	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7
2	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8
3	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6
4	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
5	7	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
計	40	38	38	38	38	39	39	40	40	40	40	41	41

職員報告 3月31日現在

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
国基準	1	8					1		
常勤	1	8	0			1	0		10
短時間常勤		1							1
非常勤		3	3		1	2	1		9

月別活動記録（園児関係）

4月	入園進級式	全園児	9月	防災訓練	全園児・保護者
6月	内科検診	全園児		YMCA	年長児
	プラネタリウム	幼児	10月	運動会	乳児、幼児
7月	歯科検診	全園児	11月	親子JAGY	幼児・幼児保護者
	プール開き	全園児	12月	お楽しみ会	全園児
	七夕	全園児		おもちゃつき	全園児
8月	尿検査	幼児	3月	卒園式	年長児・保護者
	夏祭り	全園児			
（その他 定例行事） ・身体測定（毎月） ・クッキング（毎月） ・園外保育・幼児（年10回）こあら（年1回） ・誕生会（毎月） ・JAGY（毎月） ・YMCA（夏季3回） ・避難訓練（毎月） ・防犯訓練（年2回） ・洪水訓練（年1回） ・なないろ交流、おひさまっ交流（中止）					

外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数（月・週・回）
JAGY	杉町陽子	月1回
わらべうた	二階堂恵子	2月1回

特別保育事業実施報告

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度	昨年度末	今年度	昨年度末
一時預り保育	129日	10日	178人	13人
親子サロン	5日	8日	大人10人 子供13人	大人12人 子供13人
延長保育	36日	7日	44人	9人

研修実施報告

外部研修

月日	研修内容	参加数		ポラリス	
7/1	まめの木研修	1		ポラリス	1
7/8	まめの木研修	1	9/27	白峰1歳児研修 zoom	1
	ポラリス	1	9/29	白峰主任保育士講座 zoom	1

月日	研修内容	参加数	12/3	保育内容総論	1
11/5	白峰主任保育士講座 白峰集合	1	12/7	心の仕組みと心のケア	8
11/16	白峰 1 歳児研修 白峰集合	1	1/17	保育に求められるリーダーシップの育成	1
11/17	ペアレントトレーニング	1	2/9	保育者にとってもリフレクションとは	1

内部研修(園内研修)

月日	研修内容	参加数	月日	研修内容	参加数
	心肺蘇生 避難訓練時適宜	16	7/8	発達相談	4
毎月	新型コロナウイルス対応	16	7/15	水遊びについて	16
5/13・14	熱中症対策	16	8/24	コロナ対策 各クラス	16
6/2	交通安全教室	5	10/8.9	わらべうた	16
6/15・16	水遊びについて	16	11/9.10	事例検討	16
7/1	発達相談	4	1/22	法人理念・園理念 評価	16

会議

事業所連絡会	厚木事業連絡会（感染予防の為未実施）
施設長連絡会	月 1 回（メール、on-line にて実施）
全体ミーティング	月 1 回
部門会議	クラス会議、係会議（月 1 回）

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	635	501
軽微事故	0	5
受診事故	8	4(1 件未受診)
苦情・要望	4	2

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	採用・退職（職種・常勤・非常勤、人数） R3.4.1 保育士 常勤 1 名採用（2019 年度実習生、2020 年度アルバイトを経て入職） R3.4.1 保育士 常勤 1 名おひさまっこ保育園より異動 R3.9.21 保育士 非常勤（9 月は 3 日勤務） 1 名採用
建物・設備	エアコン・消防設備 定期メンテナンス（年 2 回） 厨房機器（随時） 1 階玄関扉を取替工事。
地域関連	・しみず公園の地域清掃に学童保育なないろのたね、デイルームとんとんと連携して参加しています。 ・近隣の方からの申し出により、ピアノクリスマスコンサートを開くことが出来ました。行事縮小の中、プロの方の生の演奏を聴く貴重な機会となりました。
実習生受入	・1/13～1/26 アルファ医療福祉専門学校 1 名実習受け入れ ・2/8～2/21 聖ヶ丘教育福祉専門学校 1 名実習受け入れ

おひさまっこ保育園

理念「おひさまっこ保育園は、こどもの「生きる力を育てます」。

施設長・管理者：斎藤 美好

1. 施設の概要

- ・ 名称：おひさまっこ保育園
- ・ 所在地：厚木市東町 7-2-2
- ・ 定員：60 名
- ・ 建物床面積： 502.19 m²
- ・ 構造：鉄筋コンクリート
- ・ 運用開始日：令和 2 年 4 月 1 日

2. 事業概要

- | | | |
|-------------|--------------------|-----------------------------------|
| (1) 通常保育 | 4 ヶ月～就学前 | 定員 60 人 |
| | 7 時 30 分～18 時 30 分 | (延長保育 19 時) |
| (2) 一時預かり保育 | 8 時 30 分～16 時 30 分 | 定員 5 人/1 日 |
| (3) 休日保育 | 8 時～18 時 | 定員 6 名/1 日 (12/30～1/3 を除く日曜・祝日実施) |

3. 事業報告

- ・ 同僚性を高め、風通しのよさを目指して日々の振り返りを行い、場面ごとの意見交換を行いました。
- ・ 保育の質の向上を目指しポラリス研修（外部研修）・わらべうた研修を行いました。（わらべうた研修は担当職員が中心となって進めることができました）
- ・ 保育士に求められる専門性について園内研修を行いました。職員一人ひとりが考え、発言し、意見交換の場を創りました。
- ・ 仕事・子育て・介護・プライベート等、職員ひとり一人の生活の充実を目指しました。

(1) 保育部門

- ・ 「意識から行動へ」を目標に翌日から生かせる研修を行いました。
- ・ 非常勤職員も研修に参加し園全体で取り組むことができました。
- ・ 毎日の保育を年間計画・月案・日々の保育に繋げる意識作りができました。次年度は園方針とも繋げて日々の保育を行います。
- ・ 職員ひとり一人の気付きが増えました。（ヒヤリハット・振り返りから）ヒヤリハットの月集計を生かし全体共有しました。個別に指導の必要な職員へは園長・主任がその日のうちに指導を行いました。

(2) 給食部門

- ・ 「家庭料理のお手本のような給食」を目標に、手作り・温もりのある給食を提供しました。
- ・ 離乳食・アレルギー食は個に対応し、安全な給食作りに努めました。
- ・ 厨房職員が食育活動や保育に入り、保育士と共に子どもの育ちを支えました。

(3) 一時預かり

- ・ 昨年同様、就労・保護者の疾病や介護・リフレッシュの一時保育対応を行いました。緊急事態宣言下でも定期保育と同じ感染症対策を行い受け入れしました。緊急事態宣言は一時保育を中止している園も多く、就労利用・育児疲労の利用者から感謝の声を頂きま

した。

(4) 休日保育

- ・市保育課・市内の休日保育実施園と連携し、また利用児の在籍園とも必要に応じて連絡取り合い、安全に保育を行いました。休日利用の子どもが楽しめる保育内容を準備し保育を行いました。

(5) 地域支援

- ・子育てサロンは支援センターやまめの木で毎週行っており、利用者も多いので、自園では子育てサロンではなく、青少年広場利用の高齢者クラブ（3グループ）との交流を模索しましたが、実施できませんでした。
- ・高校生インターンシップ、ボランティアの受け入れを行いました。体験を通じて、保育士を目指している学生の支援を行いました。

(6) 気候等の変化に対応して保育の工夫をし、安全を保ちました。

- ・7月8月は熱中症対策として外出を控えました。
- ・1月2月、感染症の多い季節は、保護者参加のイベントは行いませんでした。

事業詳細

年令別・月別園児数

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	5	1	1	1	1	2	3	3	4	5	6	6	6
1	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2	11	12	11	11	10	11	12	12	12	12	12	12	12
3	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
4	11	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
5	11	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
計	60	49	48	48	47	49	51	51	52	53	54	54	54

職員報告 3月31日現在

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
基準数	1	9	0	0	1	1	1		13
常勤	1	8		1	1	1			12
非常勤		7	3		1		1		12
短常勤		0	0	0	0	0	0	0	0

月別活動予定（園児関係）

月	活動予定	目標・成果	月	活動予定	目標・成果
4月	入園・進級式 交通安全教室	入園進級を祝う 道路の歩き方を知る	10月	運動会	参加者と一緒に体を動かす ことを楽しむ。 JAGYの成果を発表する
5月	田んぼ遊び	泥んこ遊びを楽しむ	11月	個人面談	保護者との連携
6月	災害伝言ダイヤル体 験	保護者の災害伝言ダイ ヤル体験	12月	おたのしみかい もちつき	日頃の保育の様子を保護者 に見てもらう 杵と臼でついた餅を食べて 見る
7月	プール開き	水遊びを楽しむ	1月	小学校訪問（年長）	近隣の小学校を訪問する
8月			2月	懇談会	保護者間の交流 園からの情報発信
9月	総合防災体験	非常食を食べてみる	3月	防犯教室教室 卒園式 お別れ遠足	防犯意識をつける（5歳児） 卒園をみんなで祝う
	どろんこ遊び	思い切り泥んこ遊びを 楽しむ			
9月	防災訓練	伝言ダイヤル体験 非常食を体験する			
（その他 定例行事） 身体測定・クッキング・誕生会・JAGY・避難訓練 毎月 内科検診・歯科検診 年2回 なないろ（学童）交流 年3回 → 中止 園外→徒歩遠足 年8回					

外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数（月・週・回）
JAGY	杉町陽子	月1回
わらべうた	二階堂恵子	年2回

特別保育事業実施報告

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度	昨年度末	今年度	昨年度末
一時預り保育	220	163	537	241
延長保育	55	139	67	156
休日保育	61	58	215	249

研修実施報告

外部研修

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
10月	キャリアアップ研修(保健安全)	1名	12月	不審者研修	8名
11月	キャリアアップ研修(マナー)	1名	1月	主任研修	1名
12月	キャリアアップ研修(実践)	1名	3月	防犯対策	1名
1月	キャリアアップ研修(幼児)	1名	3月	新年度に向けたコミュニケーション	1名
1月	キャリアアップ研修(乳児)	1名	3月	まめの木研修	3名
1月	キャリアアップ研修(実践)	1名	2月	支援員フォローアップ研修	1名
1月	キャリアアップ研修(食育)	1名	2月	保育園の安全確認	1名

内部研修(園内研修)

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
前年度 3月	法人理念を学ぶ 法人理念と園目標を再確認し 次年度、どのような保育を行 っていききたいか意見を出し合 う。	10名	9月	安全管理⑧ 散歩マップを使って散歩先ま での歩き方、散歩先での注意 箇所を確認する	15名
4月 ～ 5月	安全管理① 午睡時間、給食時間が保育に おいて危険な時間帯と再確認 する。(マニュアル確認)	15名	10月	人権チェック① 全国保育士会、人権擁護のた めのチェックリストを使用 し、自分の保育を振り返る。	20名
	安全管理② 心肺蘇生法を確認する チェック表を使って一連の流 れができていないか1人ずつ人 形を使って行う	20名		専門性の向上① 保育者の関わりの理論と実践 「関わりを学ぶ」必要性を知 る	15名
	安全管理③ 交通安全 子どもの特性、道路を渡る時 の注意等を確認する	15名		専門性の向上② 保育者の関わりの理論と実践 「支援のゴールイメージを明 確にする」	15名
	安全管理④ 散歩マップを使って散歩先ま での歩き方、散歩先での注意 箇所を確認する	15名		組織で働くとは？ ポラリス研修④～⑤	15名
	安全管理⑤ 避難訓練 初期動作確認 各クラス避難場所の確認	15名	11月 ～	専門性の向上③ 個人面談に向けて 面談の進め方を学ぶ	15名
	安全管理⑥ 熱中症対応・対策を確認する	15名	12月	安全管理⑨ 嘔吐処理確認	15名

6 月	安全管理⑦ 水遊び時の対応・対策を確認する	15 名	1 月	ポラリス研修	15 名
7 月 ～ 8 月	社会人として① ポラリス研修①～③	15 名	2 月	人権チェック② ① 同様	20 名

合同会議

事業所連絡会	月 1 回
施設長連絡会	月 1 回 zoom 会議
全体ミーティング	月 1 回（午睡中 分けて）
部門会議	月 1 回

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	913 件	1102 件
軽微事故（とげ・擦り傷）	37 件	56 件
受診事故	3 件	6 件
苦情・要望	17 件	24 件

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	採用・退職・異動 （日付、職種、人数） 採用…管理栄養士（常勤） 1 名 栄養士(非常勤) 1 名 退職…保育士（正規） 1 名 保育士（非常勤） 1 名 栄養士（非常勤） 1 名 移動…保育士（正規） 1 名
建物・設備	エアコン・厨房機器 点検定期メンテナンス 年 2 回
地域関連	
見学・来園	一時保育見学…毎週水曜日 13：00～ 13：30～ 定期保育見学…毎週木曜日 15：00
体験学習	インターシップ（高校生 5 名受け入れ）
実習生指導	実習生（1 年） 1 名受け入れ

そらまめ保育園

理念「心と体の健やかな成長を育み自分で未来を切り開く力を培います」

施設長 青山 理栄

1 施設の概要

そらまめ保育園（本園）

- ・所在地：川崎市多摩区宿河原 1 丁目 I-32
- ・定員：70 人
- ・開所日： 2019 年 4 月 1 日
- ・移転日： 2019 年 4 月 1 日

そらまめ保育園（分園）

- ・所在地：川崎市多摩区宿河原 1 丁目 I-40
- ・定員：20 人

開所日： 2019 年 4 月 1 日 （NPO 法人開所日 2009 年 4 月 1 日）

2 事業概要

通常保育	（本園）7 時～20 時	定員 70 人
	（分園）7 時～20 時	定員 20 人

3 事業報告

（1）保育部門

コンセプト～空に向かってすくすく育て！元気なそらまめっこたち～

そらまめのさやのように、一人ひとり温かく包み込み、上に向かって折れることなく伸びていく為の支えとなる保育園づくりを行います。

- ・昨年同様に引き続き新型コロナウイルス感染症対策に力を入れました。
- ・行事は感染症の状況を見ながら柔軟に考え対応しました。
- ・スタッフ間の情報の共有化、共通の理解や認識を高め、保育への対応をしてきました。
- ・「待つ保育」を目標に、職員一人一人が自分の良さを十分に発揮し、子どもの発達段階を踏まえた計画を立てました。また、実践・点検評価ができるよう保育の振り返りを行いました。
- ・ZOOM 研修を数多くの職員が受けられるような環境設定、人員配置を工夫し、職員の個々の質の向上に努めました。コロナ禍で思うような保育が出来ないこともあり、緊急事態宣言中は体操教室もお休みにしていました。その中でも「今やれることは何か？」を念頭に置き日々の保育を考え工夫して行いました。また、子どもの発達や、事例検討する機会も増え園内での研修も充実できるよう努めてきました。
- ・一人ひとりの子どもの育ちを大事に保育し、保護者と共に子育てをしているという視点を忘れずに、配慮が必要な子や保護者に適切な対応や情報提供ができるよう努めてきました。また、職員で考え職員間の連携を図る工夫をしました。
- ・園内研修担当チーム（絵本・食育・環境設定・整備・マニュアル作成）が、それぞれ昨年度に引き続き研修担当メンバーを中心に計画を立て実践してきました。

（2）給食部門

- ・今年度は地域の子育て世代向けに栄養士が講座を開き、子どもの食の悩み相談や、食について一緒に考える機会を作りました。
- ・子ども達の発達に合わせ楽しく美味しく食事ができるよう保育と連携しました。幼児・乳児向けに人形や小道具を作成し食育にも力を入れました。また、栄養士を中心に、毎月のミーティ

ングで献立検討や在庫管理、給食だよりの内容について話し合いをしました。ヒヤリハットについても給食スタッフで本園分園の共有をしっかりと行うことが出来ました。

- ・毎月の園だよりで、食にまつわる多様な話題と情報を発信してきました。
- ・報告・連絡・相談をていねいに行い、分園、本園の情報共有もできました。

(3) 一時預かり

- ・地域のニーズを図り、2023 年度に向け一時保育事業を開始出来るように準備を進めていきます。

(4) 親子サロン

- ・コロナ禍で地域の方と触れ合う機会が少なくなりましたが、11 月にはそらまめサロン（リトミック）を開催し、地域のお子さんとお楽しむ機会を作りました。来年度（2022 年度は）地域公開講座と育児講座を再開します。毎回のテーマを設けて多くの参加を目指して広報します。

事業詳細

(本園) 年令別・月別園児数

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
2	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
3	18	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18
4	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
5	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
計	70	70	70	70	70	71	71	71	71	71	71	71	71

(分園) 年令別・月別園児数

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
1	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
2	7	9	9	9	9	9	9	8	8	9	9	9	9
計	20	23	23	23	23	23	23	22	22	23	23	23	23

職員報告 3月31日現在

(本園)

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
国基準	1	8	0	0	1	3	0		12
常勤	1	10	0	0	0	2	0	0	13
短常勤		1	0	0	0	0	0		1
非常勤	0	3	2	0	2	1	0		8

(分園)

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
国基準		7	0	1	1	1	0	0	10
常勤		5	1	0	1	0	0	0	7
短常勤		2	0	0	0	1	0	0	3
非常勤	0	4	0	0	1	0	1	0	8

月別活動記録（園児関係）

4/1	入園・進級式	入園進級を祝う 新入園児紹介、在園児・職員顔合わせ	10/12	さつま芋掘り	土に触れる。秋の味覚を味わう
5/25	幼児春の遠足 プラネタリウム		10/23	運動会	親子で楽しむ運動会
6/15	交通安全教室	交通安全について知る 道路の歩き方を知る	11/2	幼児遠足（生田緑地）	園外遊びを楽しむ。
7/1	歯科検診	歯の健康について知る	12/18	発表会	歌や楽器演奏、劇あそびを楽しむ
7/7	七夕集会	季節の行事に親しむ	12/24	クリスマスお楽しみ会	
7/17	夏まつり	親子で楽しむ（5歳児のみ保護者参加） 保護者の交流を図る		クラス懇談会	保育説明、保護者懇談 ➡中止
7/	年長・年中保育参観 ➡中止	中止	1/5	お餅つき	季節の行事を経験する
8/18	すいか割➡中止	夏の風物詩を知り、楽しむ		節分	季節の行事を知り、経験する ➡中止
9/1	お店やさんごっこ	全園児で売り買いを楽しむ	3/3	ひなまつり	季節の行事を楽しむ
9/16	敬老の日（手紙投函）	祖父母に感謝の気持ちを込めて手紙を送る	3/19	卒園式	卒園を祝う
			3/24	おわかれ会➡ 4.5歳児交流に変更	卒園児との思い出を喜び、別れを惜しむ
（その他 定例行事） 避難訓練・園医検診・誕生会・身体測定・食育・クッキング					

外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数（月・週・回）
幼児クラス体操教室	スポーツコミュニティ	月3回

特別保育事業実施報告

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度	昨年度末	今年度	昨年度末
親子サロン	1	0	12	0
母乳ケア				

研修実施報告

外部研修

月日	研修内容	参加数	月日	研修内容	参加者数
5/19	ZOOM 発達コーディネーター	1	8/24	ZOOM 事故防止及び健康安全管理	1
6/2	ZOOM 子どもの人権について	1	9/2	ZOOM 保育所における感染症対策ガイドライン	1
6/7～	ZOOM 子どもへのまなざしと保育者の関わり	18	9/6	ZOOM 子どもの人権について	1
6/21～	ZOOM 発達をおさえた環境設定	2	9/9	ZOOM 保育所における血液を介して感染する病気等	1
7/5～	ZOOM 危機管理	2	9/28	ZOOM 保育所における事故発生時の対応のためのガイドライン	1
7/14	ZOOM ケースカンファレンスワーク	1	10/5	乳児保育 zoom 保護者支援と保育の役割	18
7/19	ZOOM 子どもの人権について	1	10/13～ 11/25	乳児保育の役割と機能 乳児保育の現状と課題 (キャリアアップ)	1
8/6～	ZOOM 保健計画の作成と活用	1	11/26～ 2/25	保育所における感染症対策のガイドラインの理解 (キャリアアップ) 保健計画作成実践演習	1

内部研修(園内研修)

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
4/3	保育のしおり見直し・書類の書き方	18	9/24	子どもの人権について	20
5/7	マニュアルの作成・見直し・確認	6	9/30	自己評価チェックリスト	20
5/7	コロナ感染対策	6	11月 11/19	多摩区自己評価チェックリスト 救命救急講習	18
8/11～ 8/13	おんぶひもの使い方研修	8	9月～ 3月	SDGS の取り組み	18

会議

事業所連絡会	年 4 回業務会議として実施
施設長連絡会	月 1 回➡メールにて事業報告 ZOOM会議
全体ミーティング	月 1 回➡8 月より本園・分園の合同会議を開始
部門会議	クラス会議 本・分合同クラス会議 厨房会議

アクシデント・苦情報告件数（本園）

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	7 3 8	5 0 4
軽微事故		
受診事故	3	1
苦情・要望	0	1

アクシデント・苦情報告件数（分園）

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	1 1 1 6	6 7 6
軽微事故		
受診事故	3	1
苦情・要望	1	1

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	採用・退職（職種、常勤・非常勤、人数） 【本園】 常勤保育士 1名 6月 非常勤・保育補助 1名 8月 【分園】 非常勤・栄養士 1名 7月 退職 【分園】 非常勤 保育補助 2名 非常勤 調理補助 1名
建物・設備	本園 5/18・8/23・11/16 消防点検 5/18・ 8/23 エレベーター点検 3ヶ月一度 11/16. 2/16
地域関連	地域公開講座（そらまめサロン）は 11 月から再開 11/19 保育者と遊ぼう リトミック（5組の親子参加）
実習生受入	なし

もものか保育園

理念

- ・一人ひとりの子どもの育ちを支えます。
- ・ありのままの子どもを受けとめ、子どもが「たのしい、うれしい、やってみよう」を実現できる保育を目指します。
- ・「元気なからだ」「やさしい心」「かんしゃの心」を育てます。
- ・子どもが楽しく過ごせて、保護者が安心して子どもを預けられる保育園にします。

施設長 渡部 千恵子

1 施設の概要

- ・所在地：川崎市宮前区馬絹1丁目9番2号
- ・定員：45名
- ・開所日：2015年9月1日（NPO法人開所日 2010年4月1日）

2 事業概要

通常保育	7時～20時（18時～20時は延長保育）	定員 45人
一時預かり保育	8時30分～17時	定員 10人

3 事業報告

（1）保育部門

- ・新型コロナウイルス感染症対策をしながら、日常の保育をどのようにしたら子どもたちが楽しく安全に過ごすことが出来るか、保護者にとっては保育園での様子がわかり、安心して仕事出来ることをクラスや保育園全体で考え共有しあい進めていきました。
アプリを利用し週1クラス配信をし、保育活動は写真でわかるようにしました。
- ・子どもの「自分でやってみたい」気持ちを大切に、職員は見守りや待つこと、出来た時はたくさん褒め、援助が必要な時は一緒に行き、次への自信につながるように寄り添いながら日々の保育を大切にしました。今後も継続していきます。
- ・クラスミーティングや保育ミーティングで日々の振り返りをして、課題があれば対策を出し合い職員間で共有し実行しています。
- ・安全に保育が出来るように、ヒヤリハットに気づきを記入し、事故を未然に防ぐように努めました。

（2）給食部門

- ・新型コロナウイルス感染症拡大を考慮して食育（クッキングなど）は実施しませんでした。
今後は様子をみながらできることは実施していきます。
- ・年長児に三大栄養素の話を取り入れました。わかりやすく絵をかいたりして、ごはん、野菜肉などバランスよく食べる大切さを伝え、バランスのよい食事の献立も子どもたちと作成してみました。食材や栄養などに興味が持てました。
- ・給食を食べ終わった後の残量を確認し計量し、各クラスでわかるように絵を使い残量を張り出しました。
給食の食べ残しが多い場合は、調理方法を考え変更等をして、たくさん食べられるようにしています。今後も継続していきます。

（3）一時預かり

- ・今年度は1歳児の週3の就労の方が登録して利用をしました。
緊急の方の登録もあり、一時保育の必要性を考え柔軟に受け入れをしました。
次年度も必要な方に利用が出来るように、時間や曜日などを調整し、受け入れを継続していきます。

(4) 親子サロン

- ・新型コロナウイルス感染症の収束状況をみながら、母乳ケア等を開催する予定でしたが、現在のところ開催は出来ていません。母乳ケアの先生と連携をとりながら今後の開催は決めていきます。

事業詳細

年令別・月別園児数

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0												
1	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
2	9	9	9	9	9	8	9	9	9	9	9	9	9
3	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
4	9	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
5	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
計	45	47	47	47	47	46	47	47	47	47	47	47	47

職員報告 3月31日現在

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
国基準	1	11	0	0	1	2	0		
常勤	1	7	0	0	0	1	0		9
短常勤		1							1
非常勤	0	4	2	0	1	1	0		8

月別活動記録（園児関係）

月	活動	目標・成果				
4/1	入園・進級式	入園・進級を祝う	12/11	生活発表会(幼児)	セリフを覚え、お遊戯など成長した様子を披露する。	
7/7	七夕会	季節の行事を知る	12/21	お楽しみ会	各クラスの出し物をみて楽しむ。	
7/12	水遊び開始	決まりを守り楽しく遊ぶ	2/3	節分	季節の行事を知る。いろんな鬼退治をして楽しむ	
7/27	夏祭り	園内でゲームやお遊戯を楽しむ				

10/9	運動会(幼児) 園内	ソーラン節、お遊戯を披露する。障害物走を楽しむ。	3/12	卒園式	卒園を祝う。 卒園証書をもらう。 保育園生活の思い出を自信を持って話す。	
10/27	運動会(乳児) 園内	お遊戯や運動遊びを楽しむ。				
(その他 定例行事) ・毎月・・・誕生会、防災訓練、身体測定、健康診断						

特別保育事業実施報告

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度	昨年度末	今年度	昨年度末
一時預り保育	241	243	87	4
延長保育	241	243	1362	877
休日保育	0	0	0	0
親子サロン	0	0	0	0
母乳ケア	0	0	0	0

研修実施報告

外部研修

月日	研修内容 (zoom)	参加者数	月日	研修内容	参加者数
6月	乳児保育について	15名	8月	キャリアアップ研修 障害児保育	1名
6/15	1歳児の食事	1名	9月	キャリアアップ研修 障害児保育	1名
6/16	発達コーディネーター連絡会	2名	1月	食品衛生責任者実務講習会	2名
7月	職員衛生研修会	3名	2月	食物アレルギーの食事と管理	1名
7月	口腔内の発達から見た食事	3名	2月	食育の取り組みについて	1名

内部研修(園内研修)

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
4/20	乳児保育で大切な事	8名	10/28	配慮が必要な子どもについて	7名
6/24	発達支援コーディネーター研修報告	7名	1/28	保育園の理念について	7名
7/27	保育園の理念について	8名			

会議

事業所連絡会	なし
施設長連絡会	4/24(厚木) ZOOM 会議 5/29 6/16 7/31 8/28 9/25 10/23 11/20 12/18 1/22 2/19 3/26
全体ミーティング	4/20 5/27 6/24 7/27 8/27 9/28 10/28 11/25 12/21 1/28 3/23
部門会議	食事ミーティング 4/22 5/26 6/23 7/21 9/14 10/18 11/15 12/21 1/13 3/28

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	112	339
軽微事故	25	19
受診事故	4	4
苦情・要望	1	0

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	入社 ・常勤保育士 2 名（このはな保育園とおひさまっこ保育園から異動） ・非常勤子育て支援員 1 名（このはな保育園から異動） ・非常勤保育士 1 名採用 退職 ・なし
建物・設備	・5 月と 7 月に保育室の床の修理を行う。 ・10 月に複合機の入れ替えを行う。 ・11 月に保育室（5 歳児）のエアコンの取り換えを行う。
地域関連	なし
実習生受入	なし

せせらぎ保育園

理念 「 せせらぎ保育園は、子どもの生きる力の基礎を培います。 」

施設長・管理者 森永裕紀子

1 施設の概要

- ・所在地：川崎市中原区新城 1-14-7
- ・定員：35 人
- ・開所日： 2015 年 9 月 1 日（NPO 法人開所日 2011 年 7 月 1 日）

2 事業概要

通常保育 7 時～20 時 定員 35 人

3 事業報告

（1）保育部門

保育目標『子どもの自ら伸びようとする力を育む保育』のもと

- ・子どもの主体的な活動を育む保育を意識して行ってきました
- ・子ども一人ひとりの育ちを大切に、子どもの気持ちに寄り添った丁寧な保育を行うとともに、待つ保育を実践してきました。
- ・健康で安全な環境作りに努め、戸外遊びや散歩を通して体力・筋力増進に努めました。
- ・発達の連続性に考慮し、幼児教育を行う施設として育みたい資質・能力を意識した保育が行えるよう、職員間での意識の共有や、理解を深められるよう学びの機会を多く持ってきました。
- ・外部研修、園内研修に取り組み保育の質の向上に努めました。
日々の気づきを大切に、記録を材料に振り返ることで個々の保育の質、専門性を高めるとともに、園全体の質の向上につなげることができました。
- ・感染予防対策を行いながら、また新しい生活様式の中での保育の在り方を模索しながら、子どもの最善の利益を常に考え保育をおこなってきました。
- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、商店街や近隣小学校・保育園等、地域と積極的に関わる機会を設けることはできませんでした。
- ・職員間での思いやりや感謝の気持ちを大切に、支え合い学び合える環境作りに努めています。また働きやすい環境作りに取り組んでいます。

（2）給食部門

「食べることは生きること」を大きなねらいとし、日々の中で、食の大切さや楽しく食事をすること、また感謝しながら頂くことの理解や意識を、食育活動などを通して子どもたちに伝えてきました。

新型コロナウイルス感染症予防のため配膳方法や、食事スタイルなど対策を講じながら安全に食事を提供できるように工夫してきました。また、クッキング活動においてもこれまでのような内容や回数は行えなかったものの、感染対策を講じながらできる内容や方法を考え工夫しながら実施することが出来ました。

（3）親子サロン

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、万全な感染予防対策を講じて実施することが困難と判断し、サロンの開催を見合わせました。

地域の「集いの場」として地域における子育て支援の拠点となれるように、今後、開催方法を検討し実施していきたいと思っています。

事業詳細

年令別・月別園児数

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
2	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
3	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
4	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
5	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
計	35	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36

職員報告 3月31日現在

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
国基準	1	8		0	1	1	1		12
常勤	1	5	0	0	1	0	0	0	7
非常勤	0	4	3	0	0	2	1	1	11

月別活動記録（園児関係）

4月	入園・進級式	進級・入園を祝う	12月	クリスマス会	
	クラス懇談会	保護者との連携	2月	節分会	
7月	年長児お楽しみ会	自信と自立に繋げる	2月	発表会	
	個人面談	保護者との連携	2月	個人面談	
8月	せせらぎまつり	季節の行事を楽しむ	3月	お別れ遠足（年長児）	
11月	運動会		3月	卒園式	
（その他 定例行事） ・健康診断・身体測定・誕生会・避難訓練・食育クッキング					

外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数（月・週・回）
英語活動	ハッピーホップクラブ	月1回
スイミング	スポーツアカデミー	週1回（任意であり 保護者負担）

特別保育事業実施報告

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度	昨年度末	今年度	昨年度末
親子サロン	0日	0日	0日	0日
母乳ケア	0日	0日	0日	0日

研修実施報告

外部研修

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
6/7～ 6/11	川崎市課題別研修 「乳児保育」	10	9/16	川崎市課題別研修 「コロナ禍における主体的な 保育」	1
6/21	川崎市課題別研修 「発達支援」	2	10/4 10/9	川崎市課題別研修 「乳児保育」	3
7/1	食品衛生研修	3	10/18	川崎市課題別研修 「発達支援」 保護者対応	4
7/26 ～ 7/31	川崎市課題別研修 「口腔内の発達から見た食 事」	4	11/8～ 11/12	川崎市課題別研修 「子どもの人権」	15
7/14 ～8/26 11/24 ～12/18	ポピンズキャリアアップ研 修 (食育・アレルギー)	1 1	10/11 ～11/4	ポピンズキャリアアップ研修 (乳児保育)	1
8/6～ 9/28 11/12 ～12/6	川崎市キャリアアップ研修 (保健衛生・安全対策)	1 1	12/20 ～1/20	ポピンズキャリアアップ研修 (保護者支援)	1
11/9 ～12/3	ポピンズキャリアアップ 研修 (マネジメント)	1			
	ポラリスオンライン研修 マネジメント研修	2		ポラリスオンライン研修 新任研修	16

内部研修(園内研修)

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
5/22	2020 外部研修報告会	15	11/27	保育の質の向上のため	13
5/22	救急法研修	15		外部研修報告	13
5/22	リズム遊び研修	15	1/18	感染症対策について	14
11/27	子どもの人権について	15			

会議

事業所連絡会	
施設長連絡会	月 1 回
全体ミーティング	年 2 回 (4 月・11 月実施)
部門会議	保育クラスミーティング月 1 回、食事ミーティング月 1 回

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	567 件	510 件
軽微事故	42 件	65 件
受診事故	0 件	0 件
苦情・要望	0 件	1 件

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	採用・退職 なし
建物・設備	保育室ガラス修繕 天井雨漏り修繕 床修繕メンテナンス
地域関連	・ 幼保小連絡会 ・ 療育センターとの連携（定期的な巡回訪問）
実習生受入	なし

保育園ゆいまあむ

理念「保育園ゆいまあむ、個の育ちを大切に支えます。」

施設長 清水佳子

1 施設の概要

- ・所在地：川崎市高津区末長 2 丁目 15-6
- ・定員：60 名
- ・開所日：2018 年 4 月 1 日

2 事業概要

- (1) 通常保育 7 時～20 時 定員 60 人
- (2) 一時預かり保育 8 時 30 分～17 時 定員 10 人

3 事業報告

保育部門

子どもたちの生きる力と自己肯定感を育むことを目的に日々の保育を積み重ねました。

- ・丁寧子どもたちの育ちをサポートしました。
- ・個の発達や興味、関心に添った環境づくりに努めました。
- ・エピソード記録を実践することで子どもベースの保育を目指しました。

結果

- ・「待つ保育」の先に子どもの本質があることに気づくことが出来ました。
- ・子ども主体の保育の本質を体感出来たことで、保育者として大きな学びとなるエピソードにたくさん出会いました。さらにそれを共有することで園全体の保育がスキルアップしました。同時に先入観を待たず保育することの意義も体感しました。
- ・「保育が楽しい」と感じる保育者が増えました。
- ・日々の保育の積み重ねと、日々の保育者同士の対話が何よりの園内研修となることを感じ、流さず丁寧に振り返ることの大切さを実感しました。

課題

- ・保育内容が充実し、保育の柱が明確になってきましたが、それをアウトプットする力が弱かったです。ICT の力を活用しながら外部へのアピールをしていきたいと思ひます。
- ・保護者や地域との連携が弱かったです。今後はもっと多岐にわたり視野を広げ、子どもの育ちを中心に、共に育ち合っていくことを目指し、進化していきたいと思ひます。

給食部門

食は日々の生活に深く結びついていることを感じ、多くの観点から学びを深めました。食べることは「楽しい」と感じることを 1 番の目的に、0.1.2 歳児は、個人の成長に合わせ、日々丁寧なかかわりと適切な援助をおこないました。

3.4.5 歳児は食べる量を知るため自分でご飯をよそったり、片づけを実施することで食器を大切に扱うことや残食の量を知る気づきに繋がりました。

さらに、子どもたちが食を通して感じたことを丁寧に拾い上げ、学ばすきっかけにしました。結果、体の仕組みを学び、食べることの大切さや、食べ方を知りました。友だちの身体を大切にすることにも気づきました。

このような日々の積み上げを基礎に 3.4.5 歳児はバイキング形式に移行していく予定です。

その見通しが持てる 1 年となりました。

また、3 月にはお弁当を持って近くの公園でピクニックを楽しみました。保育と給食の連携が

充実してきたことで、可能性も広がりました。

一時預かり

コロナ感染症の影響を受け大幅な受け入れは実施しませんでした。クラス吸収で1日1～2人の預かりとなりました。通常保育児と交わる中で、たくさんの刺激を受けながら成長していく姿に吸収型の良い面も見る事が出来ました。しかし、急なお預かりを受け入れることが出来ず課題として残りました。一時保育の意義を改めて考慮し、令和4年度から通常保育吸収型から一時保育を独立させることで受け入れを広げたいと思います。

事業詳細

年令別・月別園児数

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
1	10	12	12	12	11	12	12	12	12	12	12	12	12
2	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
3	11	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11
4	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
5	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
計	60	65	65	65	63	64	64	64	64	64	64	64	64

職員報告 3月31日現在

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
国基準	1	8	0	1	1	2	0	0	13
常勤	1	8	1		1	0	0	4	15
時短	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非常勤	0	3	2	1	0	2	1	0	9

月別活動記録（園児関係）

4/24	クラス懇談会	保護者交流	12/4	ゆいまあむの日（4.5歳児）	発表することを楽しむ
6/27	運動会（3.4.5歳児）	体を動かすことを楽しむ	12/24	クリスマス会	季節の行事を体験する
7/3	ふれあい会（0.1.2歳児）	親子の交流を楽しむ	12/27	おもちゃつき	伝統行事を体験する
9/29	お芋ほり	季節の行事を体験する	2/3	節分会	季節の行事を体験する
10/5	お店屋さんごっこ	異年齢で過ごす	3/12	卒園式	年長さんの卒園を祝います
11/27	ゆいまあむの日（1.2.3歳児）	発表することを楽しむ	3/31	ピクニック	近くの公園でお弁当を食べる
（その他 定例行事）					
・身体測定 ・避難訓練 ・マーブルの日（異年齢交流）					

特別保育事業実施報告

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度	昨年度末	今年度	昨年度末
一時預り保育	133	126	150	109

研修報告

外部研修

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
5月～	キャリアアップ研修(マネジメント)	斎藤	10月～	キャリアアップ研修(マネジメント)	谷口
5月～	キャリアアップ研修(食物・アレルギー)	佐藤	10月～	キャリアアップ研修(マネジメント)	佐藤
8月～	キャリアアップ研修(障害児保育))	熊谷	12月～	キャリアアップ研修(幼児保育)	熊谷
10月～	ポラリス(施設長研修)	清水			

内部研修(園内研修)

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
6	危機管理 (園内危険箇所マップ作成)	12	1	エピソード記録の書き方	10
7	選ばれる園になるための作戦会議	12	2	エピソード記録を実践後の振り返り	10
9	SDG s のついて考える	10	3	園理念について	10

会議

事業所連絡会	コロナ感染症拡大防止のためメール又は電話での報告相談
施設長連絡会	毎月 1 回 Web 開催
全体ミーティング	5/14 10/8 1/14 2/9 3/26 その他部門会議適宜開催 周知徹底
部門会議	高津区園長会 健康管理委員会 栄養士 年長児担当会議 各会議 年に 3～4 回 Web にて開催

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	1256	148
軽微事故	188	53
受診事故	2	1
苦情・要望	0	0

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	採用：非常勤保育補助 3名 非常勤調理員 1名 非常勤事務 1名 (4月) 非常勤保育士 1名 (11月) <u>合計 6名</u> 退職：非常勤保育士 1名 (10月) 非常勤保育士 1名 (2月) <u>合計 2名</u> 休職：非常勤保育士 1名 (2月～)
建物・設備	給湯器の交換 外門扉の交換(正面玄関)
地域関連	末長小学校の体育館にて運動会開催(6月) 近隣の農家さんにてお芋ほりを実施(10月) 末長小学校の1年生と年長児によるお手紙交換
実習生受入	なし

保育園小さなほし

理念「子どもの生きる根っこが育つ『今』を大切にします」

施設長・管理者 垣中奈奈子

1 施設の概要

- ・所在地：藤沢市湘南台3-9-1
- ・定員：66名
- ・開所日：2015年 9月 1日（NPO 法人開所日 2010年 4月 1日）
- ・移転日：2019年 1月 1日

2 事業概要

- | | | |
|-------------|--------|-------|
| (2) 通常保育 | 7時～20時 | 定員66人 |
| (3) 一時預かり保育 | 8時～17時 | 定員10人 |
| (4) 病後児保育 | 7時～18時 | 定員6人 |

3 事業報告

- ・法人理念と園理念に基づき、「待つ保育」を深める取り組みを日々の具体的な保育の中で深めました。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めつつ、子ども達が心身共に伸び伸び過ごせる保育を工夫しました。
- ・全ての業務に於いて振り返る力と考える力が深まるよう、園長が日々の日誌内容へのコメントや保育実践内容への声掛けを行いました。また、園内研修等で個人が考える場面を多く作りました。
- ・PDCAサイクルに基づいた仕事を職員一人ひとりが意識しました。

(1) 保育部門

- ・子ども一人ひとりの発達の要求を感じ取り、保育に参画する力が養われるよう関わりました。
- ・子どもの人権について、学び考え、関わり方を見直す機会を設けました。
- ・年度末に保護者アンケートを行いました。その結果を園内で共有・考察し、次年度に繋げる方向（保護者と共に園を作っていける雰囲気作り）を決めました。
- ・保育の質を上げる為、普段の保育と園内研修を通して、「アタッチメントの形成を中心に子どもの心と発達を汲み取る保育」、それを基盤とした「子どもが参画する保育」を考えつづけました。
- ・地域の自然を慈しみ興味を持つ保育を実践しました。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大で、異年齢保育による豊かな学びの実践は難しい日が続きました。しかし、年上児の発表を観る等の工夫をし、年下児が大きくなる事への期待に繋がりました。
- ・ZOOM等による外部研修に参加しました。特にマネジメントに関する学びは、今後のキャリアアップの考え方の指針となる期待が生まれました。

(ア) 給食部門

- ・厨房内で意見を出し合い、新しい献立を取り入れました。
- ・旬の食材を使用し、旬の野菜や果物を給食便りで保護者に紹介しました。子どもには、皮むきの手伝い等を通して、旬の食材を伝えました。行事食の提供では、子どもの心が動く盛り付けを工夫しました。

- ・梅干し、梅ジュース、干し柿、味噌作りをコロナ対策実施の下で行いました。

(3) 一時預かり

- ・レスパイトが必要な親が増えている現状を担任と共有し、出来る限りの受け入れを行いました。
- ・その日の利用者の年齢・個性に配慮し、安心・安全な環境を作り、保育を行いました。
- ・保護者や利用児の様子に合わせ、送迎時の聞き取りやお伝えを丁寧に行いました。

(4) 病後児保育

- ・病気回復期の児を預かり、地域の家庭の就労と子育ての支援をしました。
- ・症状や年齢に合わせ、保育環境を用意しました。
- ・利用児の体調変化に留意し、安心・安全に過ごしました。

(5) 親子サロン

- ・新型コロナウイルス感染症収束傾向が無く、地域の状況も余談を許さなかった為、実施を見送りました。
- ・地域の方からの育児相談が、1件有りました。睡眠を中心とした生活リズムについての相談を傾聴し、アドバイスをさせていただき、自分の育児を肯定して帰途についていただきました。

事業詳細

年令別・月別園児数

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
1	12	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
3	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
4	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
5	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
計	66	64	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66

職員報告 3月31日現在

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
国基準	1	1 6	0	1	1	1	0	0	2 0
常勤	1	1 0		1	1	0	0	0	1 3
短 常 勤	0	6		0	0	0	1	0	7
非 常 勤	0	8	1	0	0	3	0	0	1 2

月別活動記録（園児関係）

4月	筍掘（5歳児）	地域竹林の会との交流及び春の恵を体感する	6月	交通安全教室（4・5歳児）	自ら安全を図る力をつける
7月	七夕	伝統行事に触れる	9月	十五夜	伝統行事に触れる 自然科学への興味
10月	運動会（5歳児）	目的を持って活動に取り組む	11月	クッキー作り（幼児）	食への興味 化学変化への興味

12月	ケーキデコレーション（幼児）	個人のケーキに装飾する	12月	発表会（4・5歳児）	目的を持って活動に取り組む 協働を体感する
2月	豆まき	伝統行事に触れる	3月	お別れ遠足（5歳児）	思い出を作る
3月	卒園式	就学への期待を持つ			

（その他 定例行事）
誕生会、防災訓練、防犯訓練（以上、毎月）
※誕生会は、新型コロナウイルス感染症収束まで、各クラスで実施
内科健診（年3回） 歯科検診（年2回）
4・5歳児眼科検診（年1回）・・・弱視の発見

外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数（月・週・回）
4.5歳児楽器	柏本智子	月1回（6月～12月）

特別保育事業実施報告

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度	昨年度末	今年度	昨年度末
一時預り保育	246日	246日	1044人	1039人
延長保育	246日	246日	2478人	1786人
病後児保育	297日	297日	42人	30人

研修実施報告

外部研修

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
6月 7月	2歳児保育研修（キャリアアップ）：ZOOM研修：白峰	1名	8月 ～2月	マネジメント（キャリアアップ）：ZOOM研修：ポラリス	3名
9月 10月	ポジティブシンキング ZOOM研修：ポラリス	全職員	11月	保育の質を高めるために ZOOM研修：藤沢市	4名
11月 12月	気になる子の理解と支援 集合研修：藤沢市	1名	12月	共生社会の担い手を育む為に 集合研修：藤沢市	1名
12月	ノロウイルス研修 ZOOM研修：藤沢市	1名	12月	遊びと子どもの育ちを考える ZOOM研修：フレーベル	2名
12月	障害児保育（キャリアアップ） ZOOM+集合研修：ポピンズ	1名	1月	食育アレルギー（キャリアアップ） ZOOM研修：白峰	1名
1月 2月	園長・主任研修 ZOOM研修：ポラリス	1名	2月	乳児保育（キャリアアップ） ZOOM+集合研修：ポピンズ	1名
2月	食育・アレルギー（キャリアアップ） ZOOM+集合研修：ポピンズ	1名	2月 3月	保護者支援（キャリアアップ） ZOOM研修：ポラリス	1名

内部研修(園内研修)

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
4月～ 2月	アタッチメントの形成と子どもの保育への参画	全職員	5月	午睡時及び救急時の対応	新入職員
7月	嘔吐処理	8名	9月 10月	本読み研修（保育者の関わり の理論と実践）	18名
7月 2月	子どもの人権	全職員			

会議

事業所連絡会	書面報告を中心に毎月開催
施設長連絡会	ZOOMにより毎月開催
全体ミーティング	小グループに分散、または書面により毎月開催
部門会議	各クラス会議：毎月開催 乳児・幼児会議、事務分担、行事担当者会議：文書を中心に毎月開催

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	406件	394件
軽微事故	177件	197件
受診事故	6件	1件
苦情・要望	3件	6件

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	採用・退職（職種、常勤・非常勤、人数） 保育士採用 4月：常勤1名、短時間常勤2名、非常勤1名 保育士退職 3月：常勤保育士2名 調理員採用 9月：非常勤調理員1名 調理員退職 6月：短時間常勤調理員1名、10月非常勤調理員1名
建物・設備	4月 1階幼児トイレの蝶番修繕 6月 厨房外扉の電子錠が閉まらない事が頻発した為、内鍵を設置 電話、複合機購入 11月 砂場を20cm深くする
地域関連	4月 近隣の竹林の会で筍堀 7月 最寄り駅地下に七夕飾りを展示 2月 近隣在住、0歳児の母から生活リズムについて相談有り ※園だよりを子どもまたは職員が近隣家屋、交番、小学校に毎月配布
実習生受入	10月 横浜子ども専門学校1年1名、鎌倉女子短期大学2年1名 2月 横浜子ども専門学校1年1名

デイルームとんとん

理念「地域の中でより豊かに暮らせるようひとりひとりの笑顔を大切にします」

管理者 高木 暁子

1 施設の概要

- ・所在地： 厚木市水引 2-12-29-203
- ・定員： 10 名/1 日
- ・開所日： 2015 年 9 月 1 日 (NPO 法人開所日 2004 年 10 月 1 日)

2 事業概要

児童発達支援	10 時～14 時	13 時～17 時
放課後等デイサービス	10 時～14 時	13 時～17 時
(長期休暇中 1～2 日/週 10 時～16 時)		

3 事業報告

- ・新型コロナウイルス感染対策に配慮し、療育を行いました。
コロナ陽性者数の増減に伴った自粛や活動休止により、8, 9, 10 月は利用が減少しました。
- ・車いす対応型送迎車が納車されました。送迎時の安全面が改善し、スタッフの身体的負担が軽減しました。
- ・運動プログラムトランポリン活動のみ参加の利用者もあり、バッジテストを受験し、個々のペースでステップアップに挑戦しました。
- ・医療行為（経管栄養、気管切開における痰の吸引、酸素管理、導尿）を必要とする方が 5 名利用されました。

(1) 児童発達支援

- ・季節の行事や音楽遊びを多く取り入れ、それぞれの利用者に合った方法でアプローチし、支援を行いました。
- ・朝の体操の継続により、利用者の理解度が向上し、体の使い方が上達しました。
- ・大型福祉バス利用の秋の遠足は行わず、複数回に分け少人数での園外保育を多く取り入れました。

(2) 放課後等デイサービス

- ・利用者は年々増加傾向（小学 1 年生～高校 3 年生）にあり、利用者の多い日には保育園 ViVi より 202 号室をお借りし、個別療育の充実と利用者に合った環境を提供できるよう努めました。
- ・保護者のレスパイトケア、負担軽減を目的に、可能な限り臨機応変な送迎に対応しました。
- ・長期休暇期間には利用時間延長日を設け、通常の放課後利用時間内ではできない活動（施設見学、戸外活動）を取り入れました。

事業詳細

年令別・月別園児数（定数 10 名/1 日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
児	49	38	57	53	36	65	41	71	73	65	60	65
放	127	118	142	115	91	82	86	118	127	95	94	116
計	176	156	199	168	127	147	127	189	200	160	154	181

職員報告 3月31日現在

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
国基準									
常勤	1	1	1						3
短常勤									
非常勤		1	4	2					7

月別活動記録（園児関係）

5/21, 24	じゃがいも掘り		2月初	豆まき		
5月末	園外保育週間		2/28	お別れ遠足		
7/5, 6	療育参観		3/13	卒園式		
8月	放デイ時間延長日		3/29	お花見・ダム見学		
10/11	さつまいも掘り		3/31	お花見・ダム見学		
10/29	ハロウィン					
11/26	サンクスギビング					
11月中旬	園外保育週間					
12/5	運動会					
12/21	クリスマス会（放デイ）					
12/24	クリスマス会（児発）					
1/28	もちつき					
（その他 定例行事）						
・誕生会						
・避難訓練						

外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数（月・週・回）
トランポリン	永田敏雄	月3～5回
リフレクソロジー	長田由佳	月3回

特別保育事業実施報告

研修実施報告

外部研修

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
6/9	まめの木出前講座	8名	12/2	心身障碍児療育普及専門研修	1名
	「子どもの行動分析」				
12/1	まめの木 巡回相談	2名			

内部研修(園内研修)

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
4/14	緊急時の対応について	9名			
9/8	食事介助について	9名			
1/12	子どもの発達支援	9名			
3/9	虐待のとりえ方	9名			

会議

事業所連絡会	
施設長連絡会	
全体ミーティング	4/14, 5/12, 6/9, 7/14, 9/8, 10/13, 11/10, 12/8, 1/12, 2/9, 3/9
部門会議	

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	101	202
軽微事故	9	15
受診事故		
苦情・要望	2	

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	採用 2021. 4. 1 非常勤職員 1名 → 2021. 10. 1 有期常勤職員 2021. 4. 13 非常勤職員 1名 退職 2021. 6. 30 非常勤職員 1名 2021. 9. 30 常勤職員 1名
建物・設備	2021. 5 送迎車（日本財団助成車両 車いす対応車）納車
地域関連	2021. 6. 20 清水公園掃除 1名 2022. 1. 16 清水公園掃除 1名
実習生受入	なし